



ARCHITREND
リフォームエディション

リフォーム プラン作成編

目次

1 リフォームプランの作成 _____ 3

| | |
|-------------------------|----|
| 作成するプラン _____ | 3 |
| 1-1 新しい物件を開く _____ | 4 |
| 新しい物件を作成する _____ | 4 |
| 物件情報を設定する _____ | 4 |
| 1-2 現況図の入力 _____ | 6 |
| 部屋を入力する _____ | 6 |
| 建具を入力する _____ | 6 |
| 設備機器を入力する _____ | 8 |
| 立体を確認する _____ | 10 |
| 建具の高さを変更する _____ | 10 |
| データを保存する _____ | 10 |
| 1-3 計画図データの作成 _____ | 11 |
| 計画図を開く _____ | 11 |
| 1-4 内装の変更 _____ | 11 |
| 設備機器を入力する _____ | 11 |
| 立体を確認する _____ | 12 |
| 内壁仕上を変更する _____ | 13 |
| パースから素材を変更する _____ | 14 |
| 変更前と比較する _____ | 15 |
| 図面化処理を実行する _____ | 15 |
| データを保存する _____ | 15 |
| 1-5 パースの作成 _____ | 16 |
| 視点を設定する _____ | 16 |
| カメラを登録する _____ | 16 |
| カメラの名称を変更する _____ | 16 |
| 背景・光源を設定する _____ | 17 |
| 作成イメージを確認する _____ | 17 |
| 太陽の方向を変更する _____ | 17 |
| [補足] 品質レベルと環境光の設定 _____ | 18 |
| 画像を作成する _____ | 19 |
| 画像を保存する _____ | 19 |
| 画像を印刷する _____ | 20 |
| パースモニタデータを保存する _____ | 20 |

| | |
|----------------------------|----|
| 1-6 展開図の作成 _____ | 21 |
| 展開図を自動作成する _____ | 21 |
| 他の面を作成する _____ | 22 |
| 仕上仕様を入力する _____ | 22 |
| [補足] データを要素単位で編集するには _____ | 23 |
| 寸法を入力する _____ | 24 |
| データを保存する _____ | 24 |
| [補足] 図面名を変更するには _____ | 25 |
| 1-7 図面の印刷 _____ | 26 |
| 図枠を配置する _____ | 26 |
| 図面を配置する _____ | 27 |
| パースを配置する _____ | 28 |
| マークを配置する _____ | 29 |
| データを保存する _____ | 29 |
| 図面を印刷する _____ | 30 |
| [補足] 図面のプロパティ _____ | 31 |
| [補足] 図面の整列 _____ | 32 |

【付録 1】 計画図 2 の作成 _____ 34

【付録 2】 内法からの入力 _____ 36

1

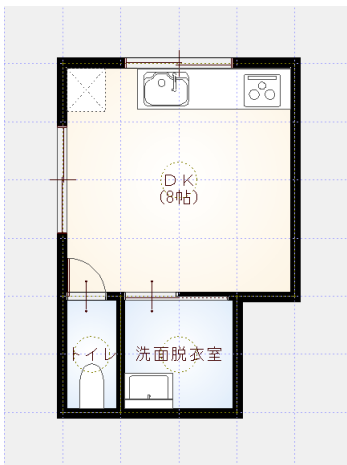
リフォームプランの作成

本章では、内装リフォームを例に、現況図・計画図の入力からパース、展開図の作成、図面にレイアウトして印刷するまでの流れを解説します。

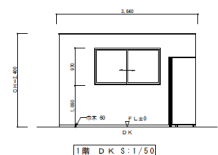
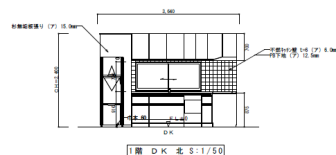
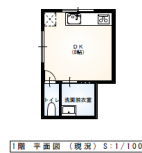
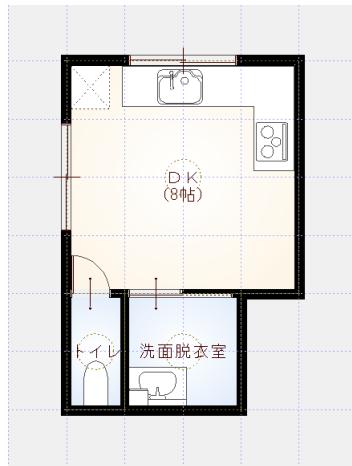
※ 本書の完成データを使用するには、リフォームエディションのヘルプから表示されるマニュアルサイトからファイルを一括ダウンロードして、ファイル内の「ReformEdition.mgdz」をマネージャーで取り込んでください（取り込み方法は、Manager 編 P.8「お客様データをリストアする」を参照）。

作成するプラン

現況図



計画図

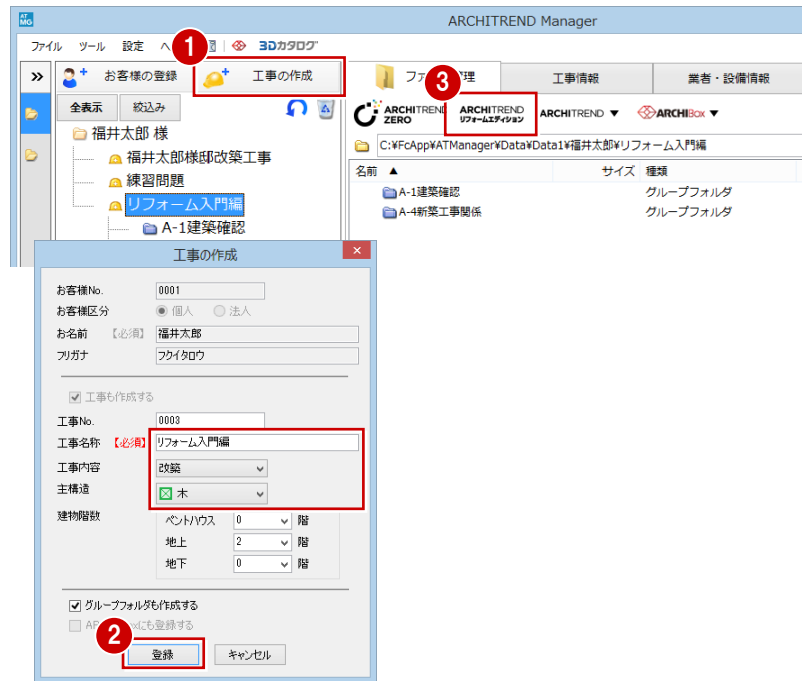


1-1 新しい物件を開く

マネージャーを起動して、新しい物件を作成しましょう。ARCHITREND リフォームエディションでは、まず現況図を入力して、それをもとにリフォームの計画図を作成します。

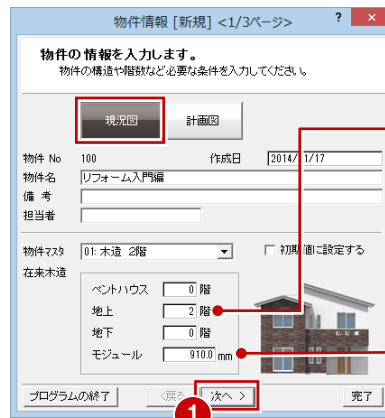
新しい物件を作成する

- 1 マネージャーで「工事の作成」をクリックします。
- 2 工事名称や工事内容などを設定して、「登録」をクリックします。
- 3 「ARCHITREND リフォームエディション」をクリックします。



物件情報を設定する

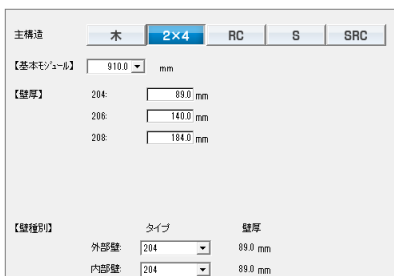
- 1 「物件情報」画面の<1/3 ページ>で、「現況図」が ON になっていることを確認して、「次へ」をクリックします。
- 2 「物件情報」画面の<2/3 ページ>で、施主情報や柱サイズ、壁厚などを確認して、「次へ」をクリックします。



データ制限
入力範囲：4000m 四方まで
階数：木造・2×4 の場合は
地下1階、地上3階、
ベントハウス1階まで

ここで設定した値が、グリッド
間隔の初期値になります。

選択した主構造で、設定内容が変わります。

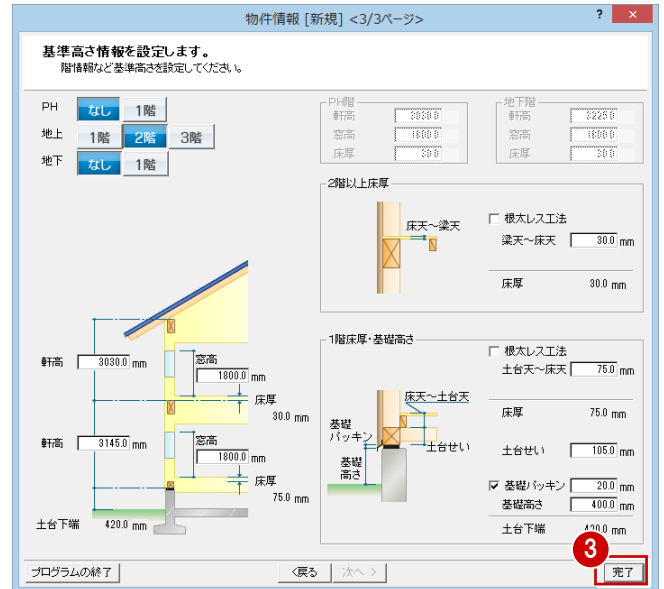


- ③ 「物件情報」画面の<3/3 ページ>で、基準高さを設定して、「完了」をクリックします。

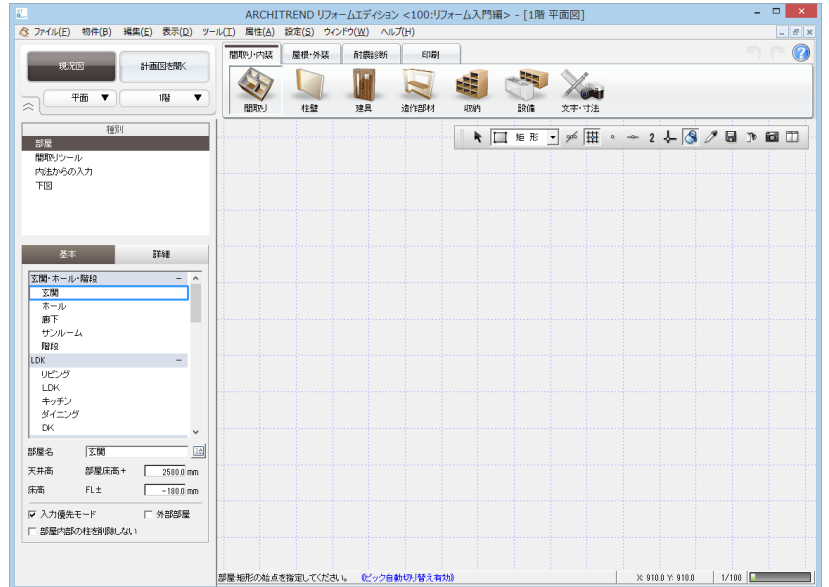
基準高さの連動先

| 基準高 | 基準高を参照する部材 |
|-------|---|
| GL | 敷地、ポーチなどの下端高の基準 |
| FL | 部屋の床高の基準、たれ・腰壁の下端基準 内部階段の始点高・終点高の基準 建具の取付高（基準増減）の下端基準 |
| 窓高/階高 | 建具の取付高（基準増減）の上端基準 |
| 軒高 | 屋根の取付高（軒高基準）の増減 |

※ 床厚によって、その階のFLが決まります。



リフォームエディションが起動します。



1-2 現況図の入力

部屋を入力する

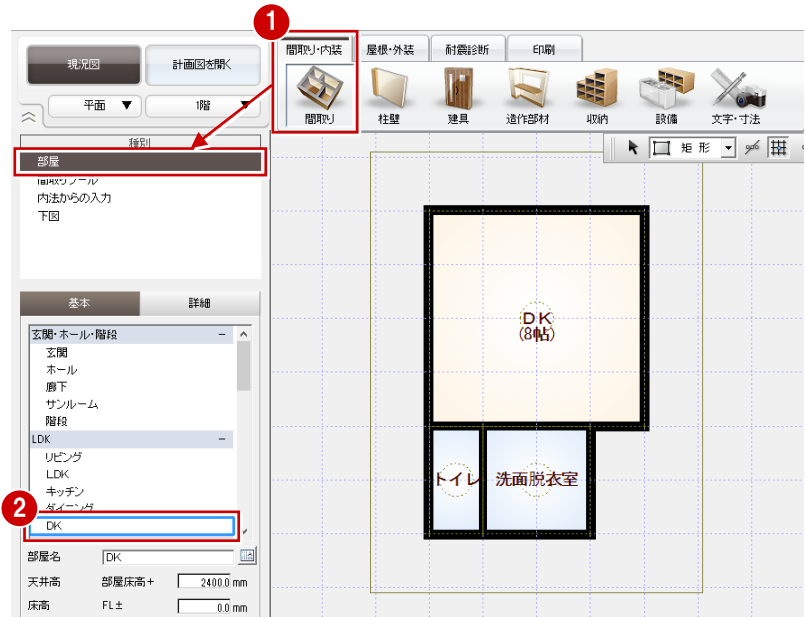
① 間取りを入力する状態になっていることを確認します。

② 入力したい部屋を選んで、右図のように入力します。

※ リフォームに必要な部屋のみの入力で構いません。

⇒ 部屋入力については、基本操作編 P.5 参照

⇒ 内法からの入力については、付録 2 (P.36) 参照



建具を入力する

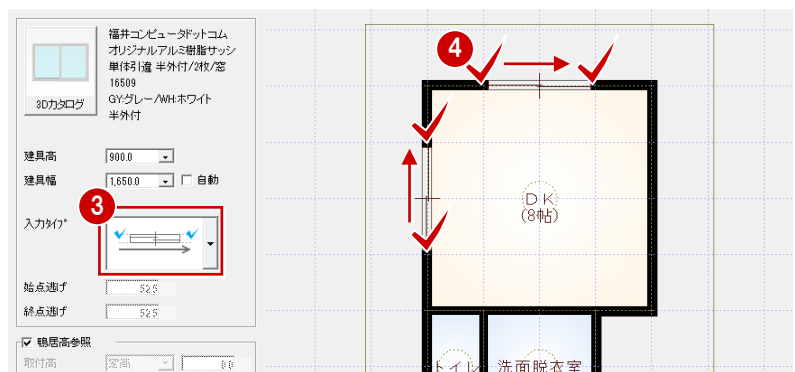
－ 引違窓を入力する －

① 「建具」をクリックして、「3D カタログ：サッシ」を選びます。

② 一覧から「引違」の「単体引違 半外付」を選び、「w1650h900」をダブルクリックして選択します。

③ 入力タイプを「中央」に変更します。

④ 建具の始点、終点をクリックして、右図のように入力します (2 か所)。



サッシの幅×高さの一覧 (マトリックス) について

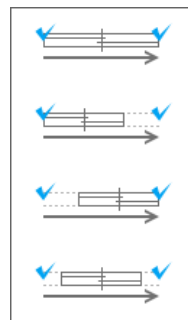
幅×高さの一覧 (マトリックス) と同じようなマスタの作成は、ユーザー登録ではできません。メーカーの提供サッシのみになります。

建具の入力方向

外部建具の場合、入力方向に関係なく、部屋領域から判断して建物外部に建具の外側が向くように自動設定されます。

内部建具の場合、始点→終点方向の右側が建具の内側になります。部屋の内部を中心に時計回りで入力してください。

入力タイプについて



始点逃げ・終点逃げを考慮した値で建具幅が決まります。建具選択時に選んだ建具幅は無効になります。

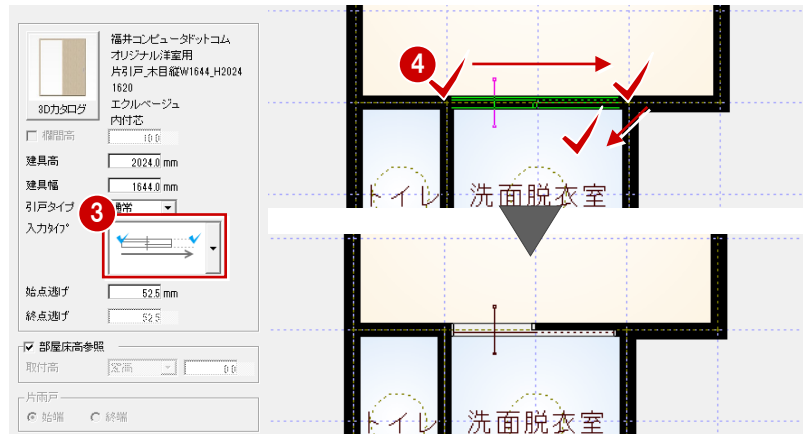
始点側に建具を寄せて入力します。始点逃げを考慮して、指定した建具幅の建具が配置されます。

終点側に建具を寄せて入力します。終点逃げを考慮して指定した建具幅の建具が配置されます。

始点・終点の中央に、指定した建具幅の建具が配置されます。

－ 片引戸を入力する －

- ① 「3D カタログ：室内建具」をクリックします。
- ② 一覧から「引戸・折戸」の「片引戸」を選び、建具をダブルクリックして選択します。
- ③ 入力タイプを「始点寄せ」に変更します。
- ④ 建具の始点（出入り口側）、終点（引き込み側）、戸の付く方向をクリックします。



建具の取付基準

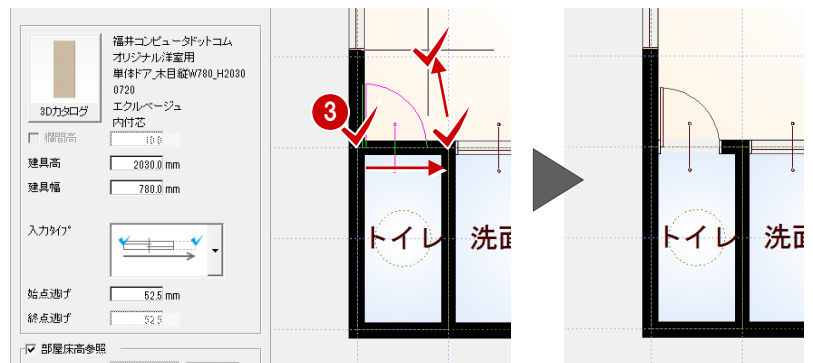
初期値では、窓は鴨居高に合うように配置され、戸は部屋床高に合うように配置されます（2階以上の外部戸の取付高はFL+200mmになります）。取付高を指定して入力したいときは、「鴨居高参照」「部屋床高参照」のチェックをはずして取付基準と高さを変更します。

－ 片開ドアを入力する －

- ① サムネイル画像をクリックします。
- ② 一覧から「ドア」の「片開」を選び、建具をダブルクリックして選択します。
- ③ 建具の始点（吊元側）、終点（取手側）、開く方向をクリックします（入力タイプは「始点寄せ」のまま）。



⇒ 建具の開き勝手の変更については、基本操作編 P.15 参照



1 リフォームプランの作成

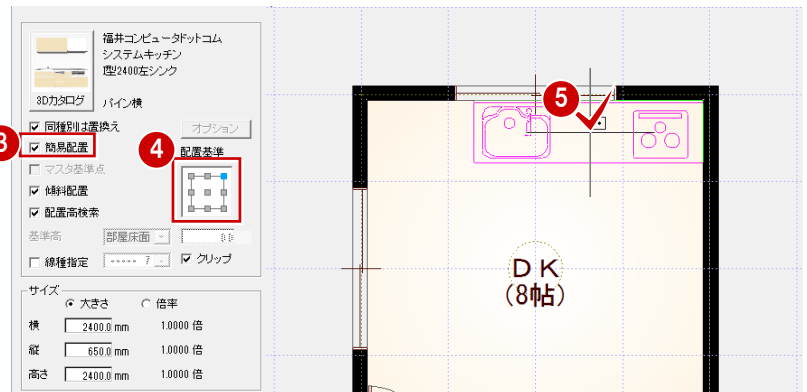
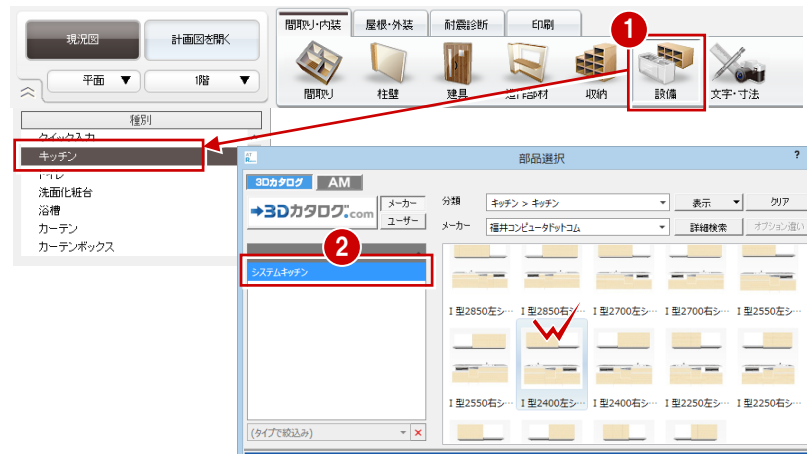
設備機器を入力する

－ システムキッチンを入力する －

- 「設備」をクリックして、「キッチン」を選びます。
- 一覧から「システムキッチン」の「I型 2400 左シンク」をダブルクリックして選択します。
- 「簡易配置」が ON になっていることを確認します。
- 「配置基準」の「右上」を ON にします。
- DK のコーナーにカーソルを移動し、右図の位置でクリックします。

部品の簡易配置

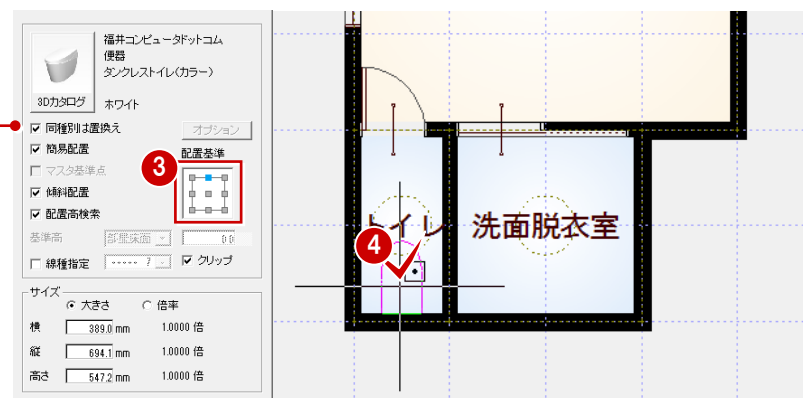
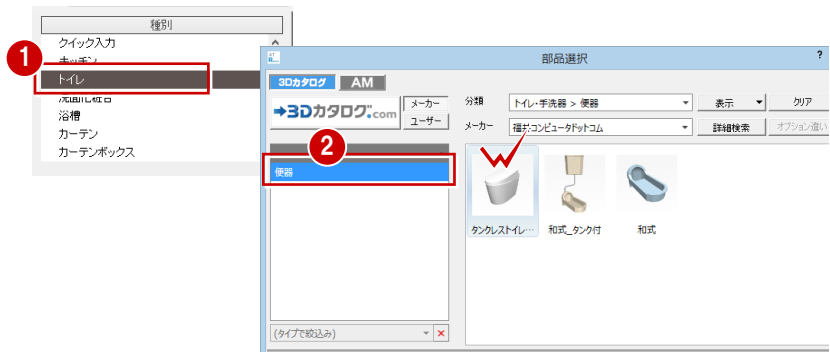
「簡易配置」を ON にすると、配置基準をもとに、部屋線に沿って部品が自動的に回転します。部屋の中央や隅コーナー部分に簡単に配置できます。



－ 便器を入力する －

- 「トイレ」をクリックします。
- 一覧から「便器」の「タンクレストイレ (カラー)」をダブルクリックして選択します。
- 「配置基準」の「中央上」を ON にします。
- トイレの壁にカーソルを移動し、右図の位置でクリックします。

「同種別は置換え」を ON にして部品を入力すると、配置済みの部品と置き換えることができます（同じ種類の部品に限る）。部品を間違えて配置、リフォームで部品を入れ替える場合などに使用できます。



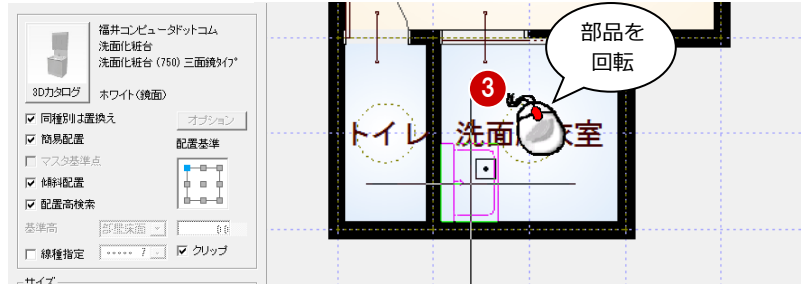
－ 洗面化粧台を入力する －

① 「洗面化粧台」をクリックします。

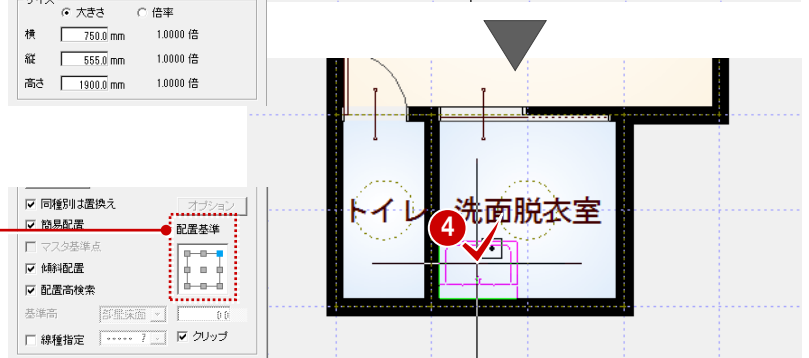


② 一覧から「洗面化粧台」の「洗面化粧台 (750) 三面鏡タイプ」をダブルクリックして選択します。

③ 洗面脱衣室のコーナーにカーソルを移動し、マウスのホイールボタン（または無変換キー）を押します。
部品の向きが回転します。



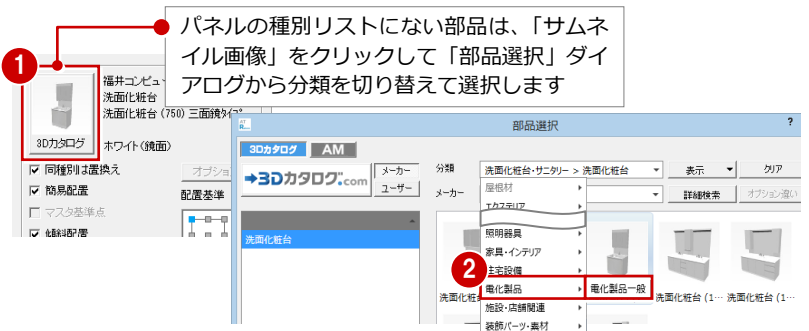
④ 右図の位置でクリックして配置します。



配置基準を変更することでも、部品の向きを変えられます。

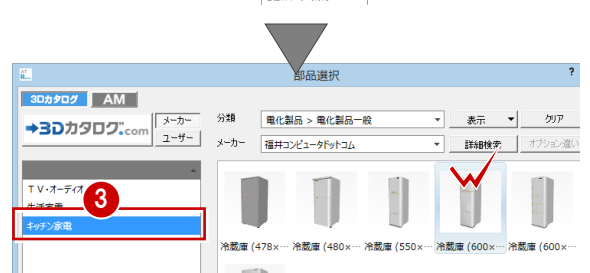
－ 冷蔵庫を入力する －

① サムネイル画像をクリックします。

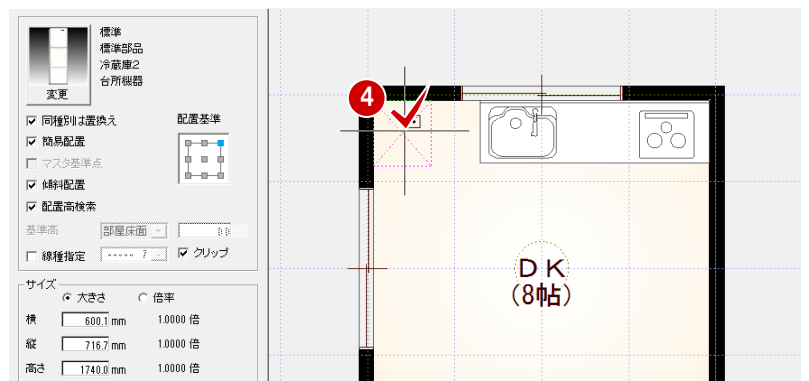
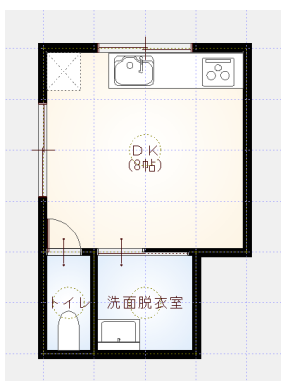


② 「部品選択」ダイアログの「分類」から「電化製品」の「電化製品一般」を選びます。

③ 一覧から「キッチン家電」の「冷蔵庫 (600×1794)」をダブルクリックして選択します。



④ 配置位置をクリックします。



1 リフォームプランの作成

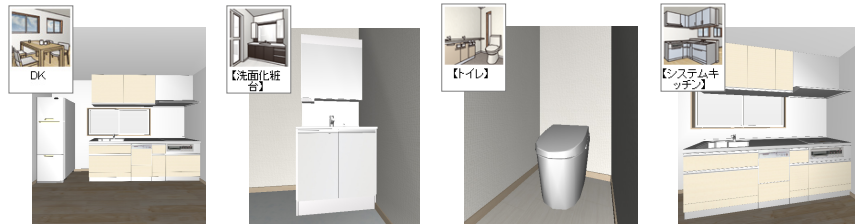
立体を確認する

- 「図面の切り替え」から「パース」を選んでパースモニタを開きます。
- カメラをクリックして各部屋を確認しましょう。

システムカメラ

玄関や居室、住設機器の視点がシステムカメラとして自動登録されます。住設機器の視点は【 】で表記されます。

なお、トイレの視点は、部品が配置されている部屋に建具（戸）が必要です（建具の位置をもとに視点位置が設定されます）。




建具の高さを変更する

システムキッチンと引違窓が重なっているので、高さを変更しましょう。

- パースモニタ上で引違窓をダブルクリックします。
パネルにプロパティが表示されます。
- 次のように高さを変更して、「変更を適用する」をクリックします。
「建具高」：700 mm
「取付高」：-350 mm

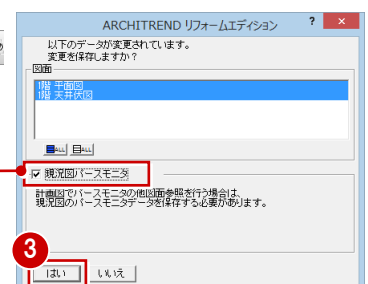


データを保存する

- 「図面の切り替え」から「平面」を選んで図面に戻ります。
- フローティングバーの  をクリックします。
- 確認画面で「はい」をクリックします。



「現況図パースモニタ」を ON にして保存するとパースが再作成されるため、パースの視点などを保存しておきたい場合は、パースを保存後、このチェックを OFF にして図面データを保存します。



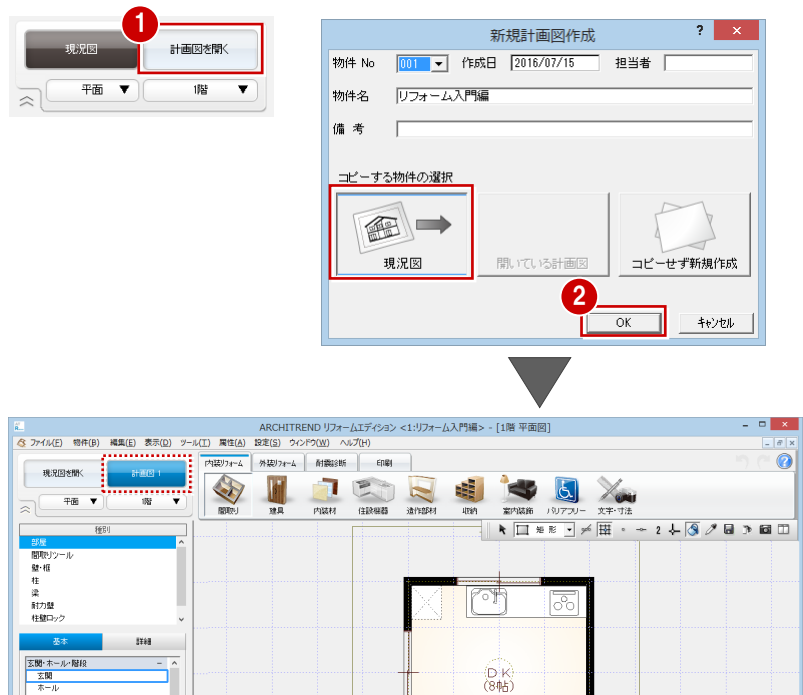
1-3 計画図データの作成

現況図ができたなら、それをもとにリフォームの計画図を作成しましょう。現況図の図面を並べて表示しながら、計画図を作成していくこともできます。

計画図を開く

- 「計画図を開く」をクリックします。
- 「コピーする物件の選択」が「現況図」になっていることを確認して、「OK」をクリックします。
現況図がコピーされた状態で、計画図 1 が開きます。

※ 1つの現況図から複数の計画図を作成できます。計画図をもとに他の計画図を作成することも可能です。
⇒付録 1 (P.34) 参照



1-4 内装の変更

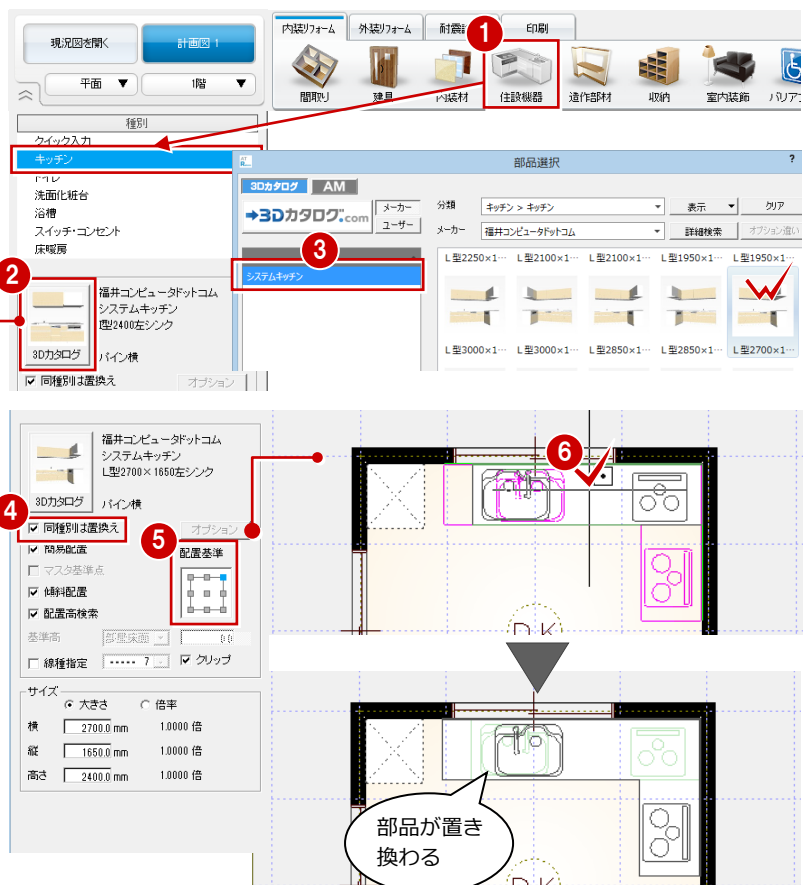
設備機器を入力する

－ システムキッチンを入力する －

- 「住設機器」をクリックして、「キッチン」を選びます。
- サムネイル画像をクリックします。

リフォームエディションの起動中は、種別毎に前回選択した部品を記憶しています。他の部品を選ぶには、「サムネイル画像」をクリックします。

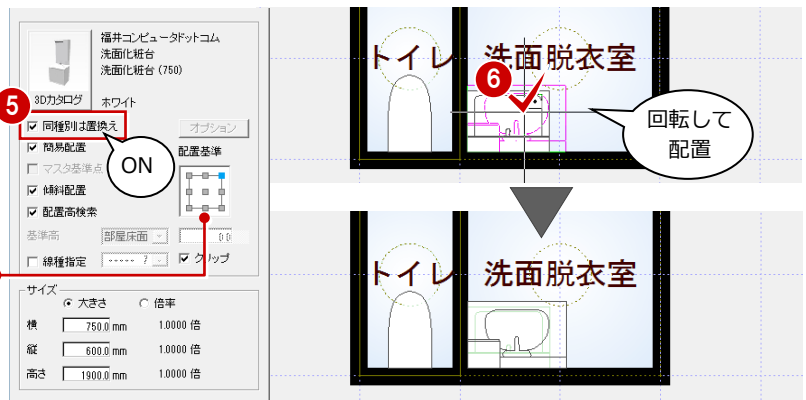
- 一覧から「システムキッチン」の「L型 2700×1650 左シンク」をダブルクリックして選択します。
- 「同種別は置換え」が ON であることを確認します。
- 「配置基準」の「右上」を ON にします。
- DK のコーナーにカーソルを移動し、右図の位置でクリックします。



1 リフォームプランの作成

- 洗面化粧台を入力する -

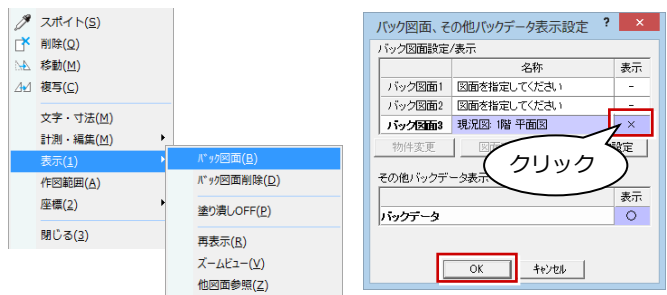
- 「洗面化粧台」をクリックします。
- サムネイル画像をクリックします。
- 「部品選択」ダイアログの「分類」から「洗面化粧台・サニタリー」の「洗面化粧台」を選びます。
- 一覧から「洗面化粧台」の「洗面化粧台 (900)」をダブルクリックして選択します。
- 「同種別は置換え」がONであることを確認します。
- 洗面脱衣室のコーナーにカーソルを移動し、部品の向きを回転して、右図のように配置します。



配置基準を変更することでも、部品の向きを変えられます。

バック図面

計画図では、現況図が薄緑色の線でバック表示されています。バック図面を非表示にするには、ポップアップメニューから「表示」の「バック図面」を選び、「バック図面 3」の表示を「×」に変更して「OK」をクリックします。バック図面を削除するには、ポップアップメニューから「表示」の「バック図面削除」を選びます。なお、プルダウンメニューから「ファイル」の「バック図面・バックデータ」の「バック図面表示」または「バック削除」を選んでもバック図面の表示設定や削除が可能です。



立体を確認する

- 「図面の切り替え」から「パース」を選んでパースモニタを開きます。
- カメラをクリックして各部屋を確認しましょう。



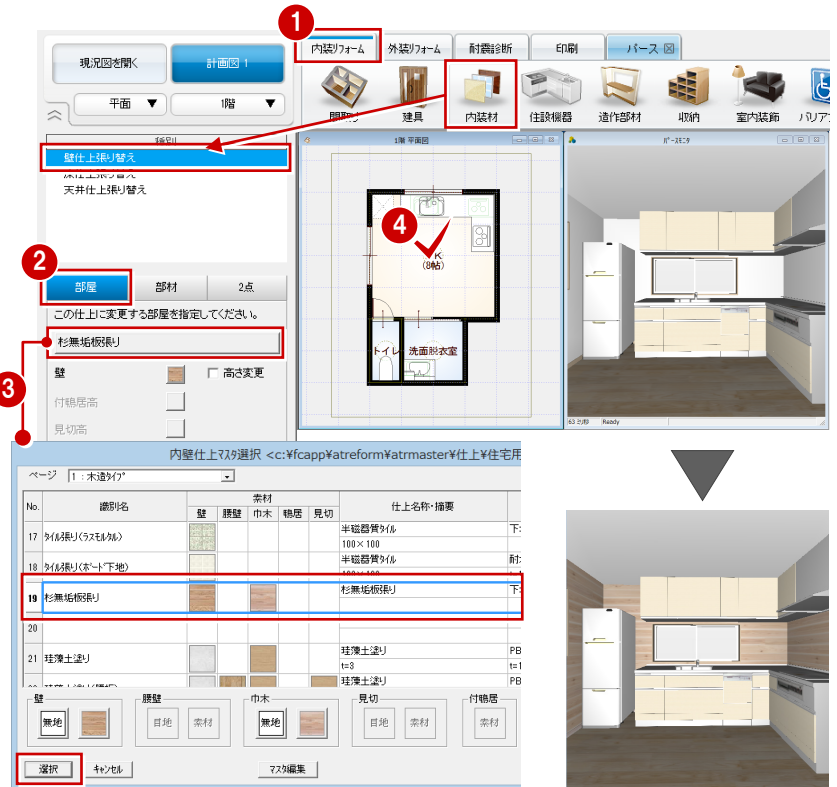
内壁仕上を変更する

－ 部屋内すべての内壁仕上を変更する －

- 1 「内装リフォーム」タブの「内装材」をクリックして、「壁仕上張り替え」を選びます。
- 2 対象が「部屋」であることを確認します。
- 3 変更後の壁仕上を選びます。
ここでは、「No.19：杉無垢板張り」を選択します。
- 4 仕上を変更したい部屋（ここでは「DK」）をクリックします。
部屋内の壁仕上が変わります。

内壁仕上マスタとは

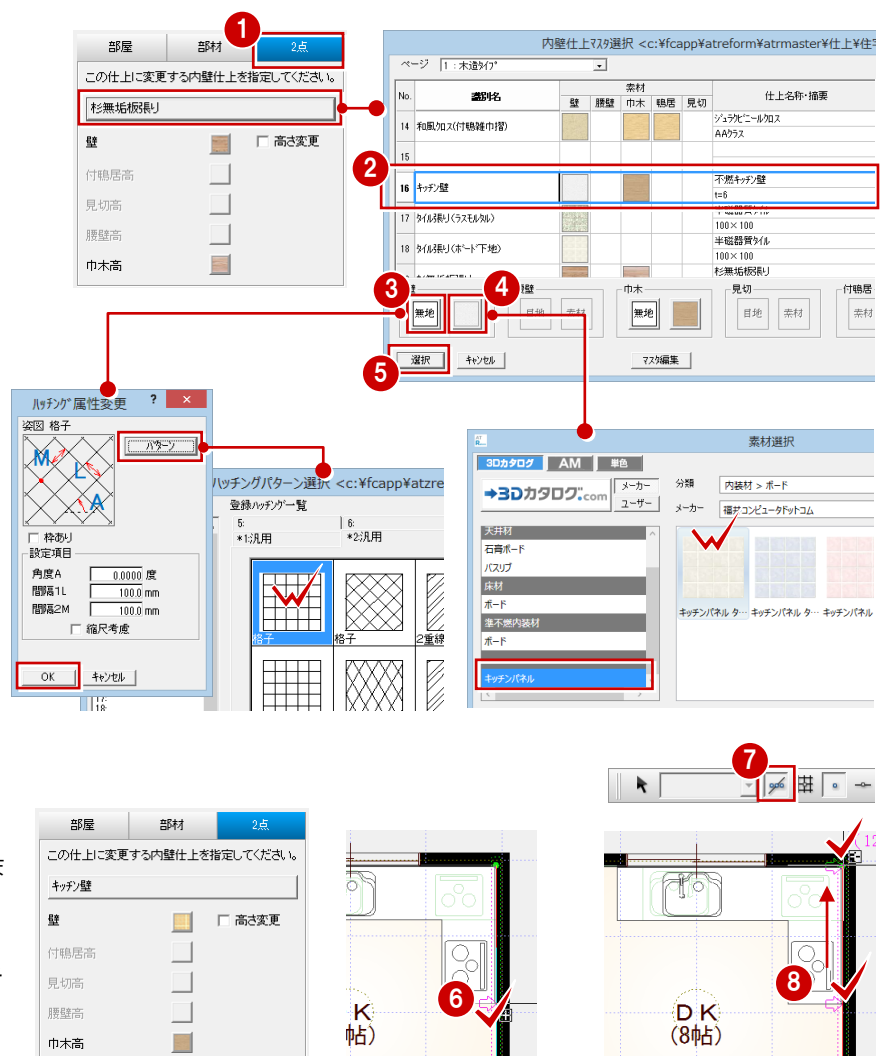
仕上の仕様や素材、厚みなどの情報を設定しておくところです。マスタから選択すると、これらの情報がまとめて変更されます。



－ 内壁仕上を部分的に変更する －

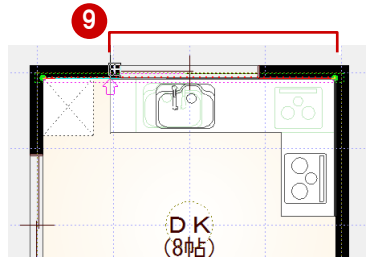
システムキッチンのコンロ部分キッチン壁に変更しましょう。

- 1 対象を「2点」に変更します。
- 2 変更後の壁仕上を選びます。
ここでは、「No.16：キッチン壁」を選びます。
- 3 展開図でわかりやすいように目地を変更します。
ここでは、「パターン」をクリックして、「2：汎用」タブの「格子」を選びます。
- 4 パースで表現する素材を変更します。
ここでは、「キッチンパネル」に変更して、「キッチンパネル タイル調ホワイ」を選びます。
- 5 「選択」をクリックします。
- 6 分割する仕上をクリックします。
- 7 「端点・交点ピック」をON にします。
- 8 分割点として、右図のようにシステムキッチンの端点をクリックします。
仕上が分割されます。



1 リフォームプランの作成

- 9 同様に、右図の位置も仕上を分割します。
仕上が部分的に変更されたことをパースモニタで確認できます。



壁仕上張り替えの対象

「部屋」「部材」「2点」は、張り替える対象によって使い分けます。

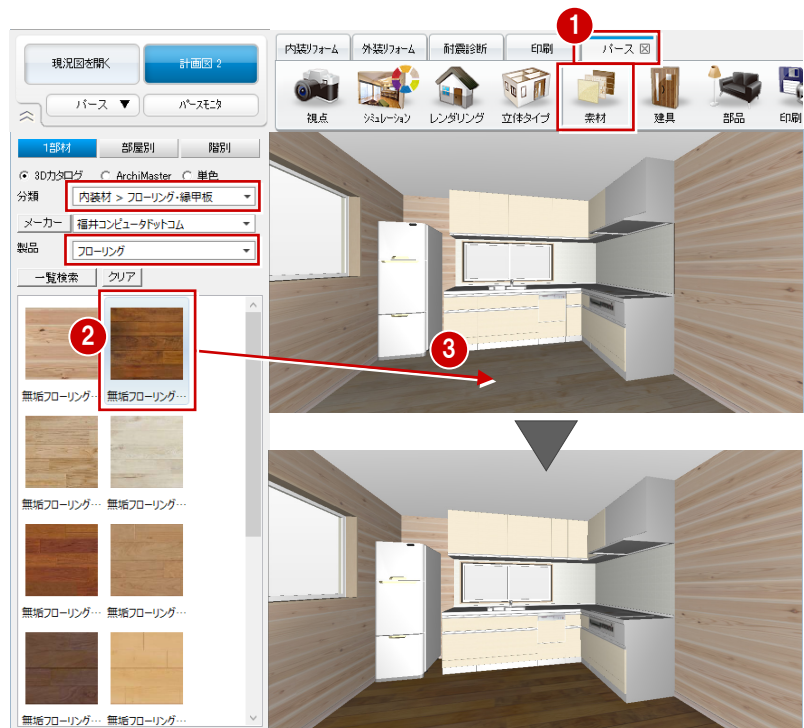
- ・「部屋」：指定した部屋内部に配置されている内壁仕上すべてと、壁仕上情報を変更します。
- ・「部材」：指定した内壁仕上のみを変更します。
- ・「2点」：指定した内壁仕上のうち、分割した部分のみ変更します。



パースから素材を変更する

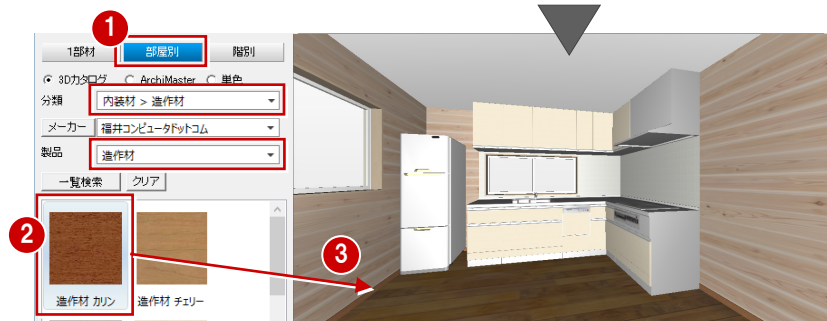
- フローリングの素材を変更する -

- 1 「パース」タブの「素材」をクリックします。
- 2 変更後の素材を選びます。
「分類」：内装材-フローリング・縁甲板
「製品」：フローリング
「品名」：無垢フローリング チーク
- 3 パースモニタの床へ、素材をドラッグ&ドロップします。
フローリングの素材が変わります。



- 巾木の素材を変更する -

- 1 対象を「部屋別」に変更します。
- 2 変更後の素材を選びます。
「分類」：内装材-造作材
「製品」：造作材
「品名」：造作材カリン
- 3 巾木へ、素材をドラッグ&ドロップします。
部屋内すべての巾木素材が変わります。




素材変更の対象

「1部材」「部屋別」「階別」は、変更する対象によって使い分けます。

- ・「1部材」：指定した面（ドラッグ先）だけを変更します。
- ・「部屋別」：指定した面と同じ部屋内の同一部材すべてを変更します。
- ・「階別」：指定した面と同じ階の同一部材すべてを変更します。

なお、外壁や外構など部屋に属さない部材は、「部屋別」と「階別」の変更結果は同じになります。

変更前と比較する

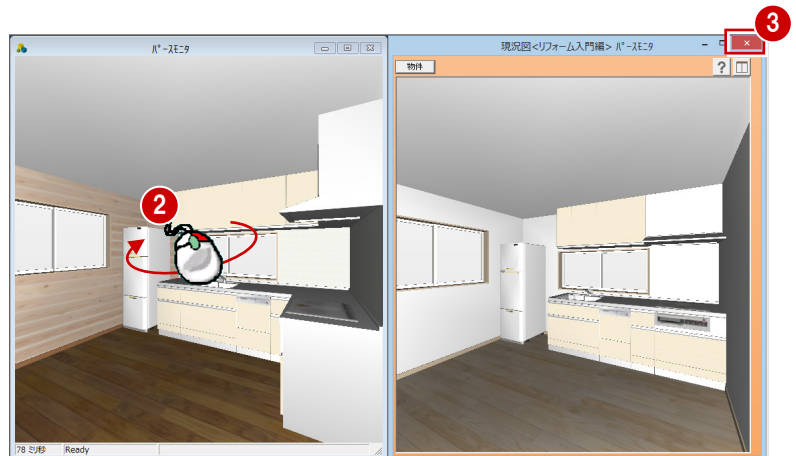
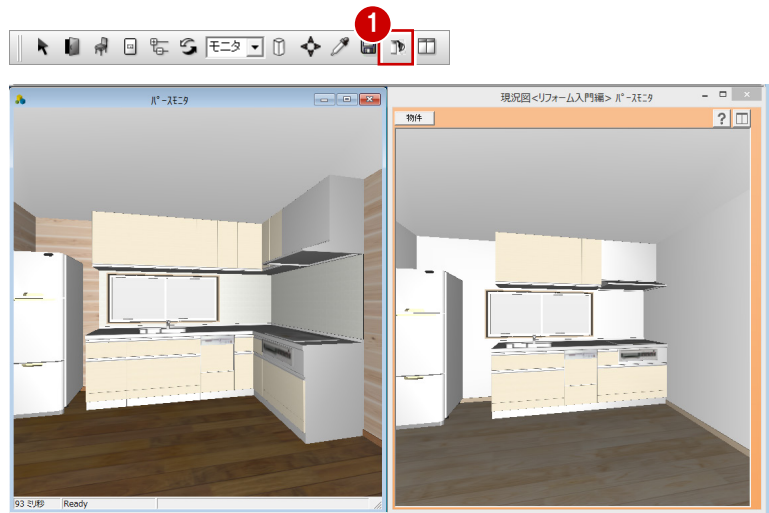
- 1 フローティングバーの  をクリックします。

現況図のパーツが並べて表示されます。

- 2 視点を変更してみましょう。
現況図のパーツも同時に動きます。

※ 現況図のパーツから視点を変更しても、同様に同じ視点で表示されます。

- 3 確認が終了したら、「現況図」ウィンドウを閉じます。



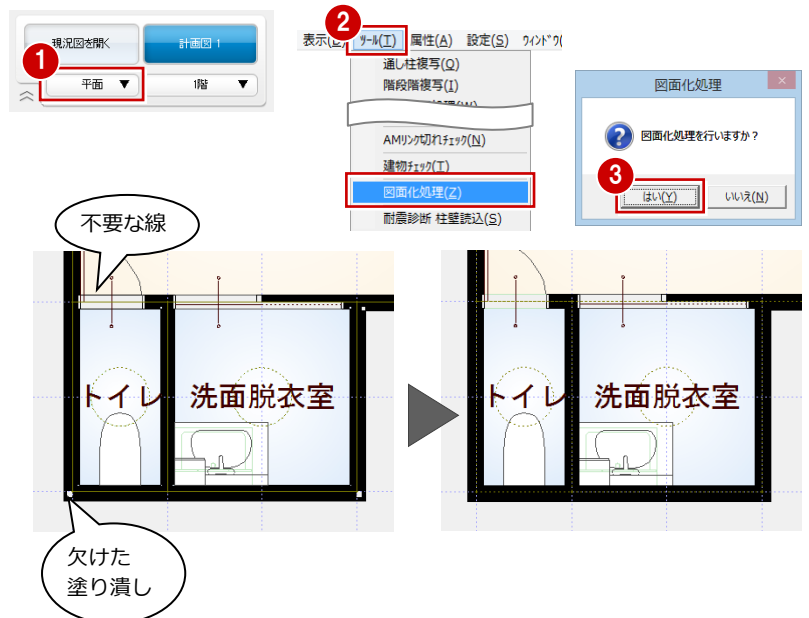
図面化処理を実行する

壁や仕上の編集などで、壁の塗り潰しが一部欠けたり不要な線が表示される場合があります。これをきれいに仕上げましょう。


- 1 「図面の切り替え」から「平面」を選んで図面に戻ります。
- 2 プルダウンメニューから「ツール」の「図面化処理」を選びます。
- 3 確認画面で「はい」をクリックします。

右ダブルクリック

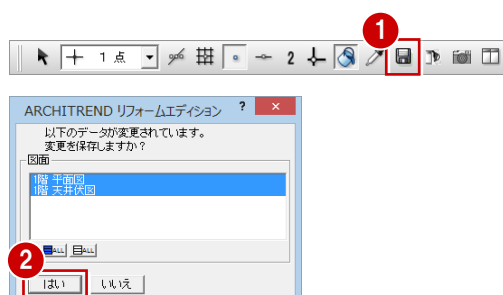
図面化処理は、CAD 画面で右ダブルクリックしても実行できます。



データを保存する

- 1 フローティングバーの  をクリックします。

- 2 確認画面で「はい」をクリックします。



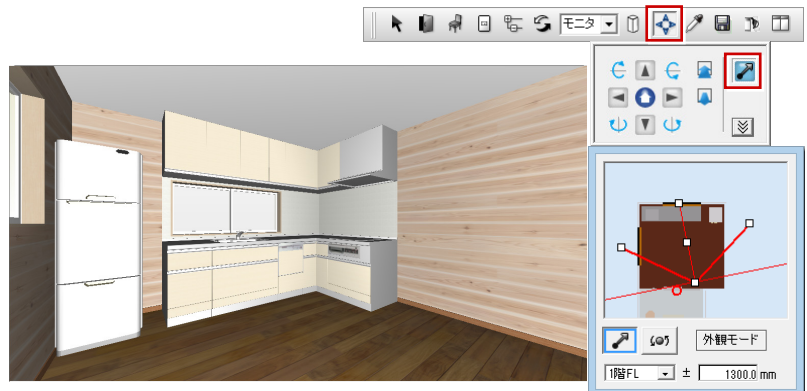
1-5 パースの作成

視点（アングル）を設定して、DKの内観パースを作成しましょう。ARCHITREND リフォームエディションでは、難しい設定をすることなく、簡単にパースを作成でき、画像ファイルとして保存できます。

視点を設定する

「パース」タブに戻り、「視点コントローラ」や「視点モニタ」を使って、視点を設定しましょう。

⇒ 視点の設定方法については、基本操作編 P.18 参照



カメラを登録する

- 1 「視点」をクリックして、「ユーザーカメラ」を選びます。
- 2 「追加」をクリックします。
現在の視点位置のカメラが登録されます。



カメラの名称を変更する

- 1 登録されたカメラを選択して、「名前の変更」をクリックします。
- 2 カメラの名称（ここでは「DK」）を入力して、Enter キーを押します。



ポップアップメニュー

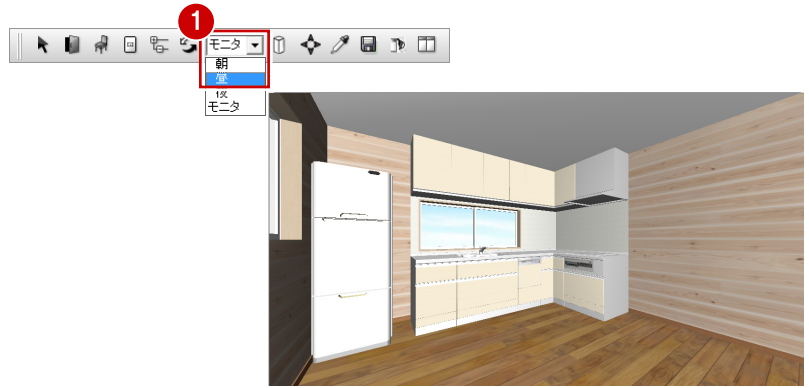
ポップアップメニューの「ユーザーカメラ」から「現在の視点を追加」をクリックしても、カメラの登録が可能です。この場合は、登録時にカメラの名称を入力します。

また、ポップアップメニューから各カメラの視点に変更できます。



背景・光源を設定する

- 「背景／光源モード」を「昼」に変更します。
パースモニタの背景画像と太陽光などの環境が「昼」に変更されます。



作成イメージを確認する

- 「レンダリング」をクリックします。
- 「品質レベル」で「高画質」を選びます。
- 「実行」をクリックします。

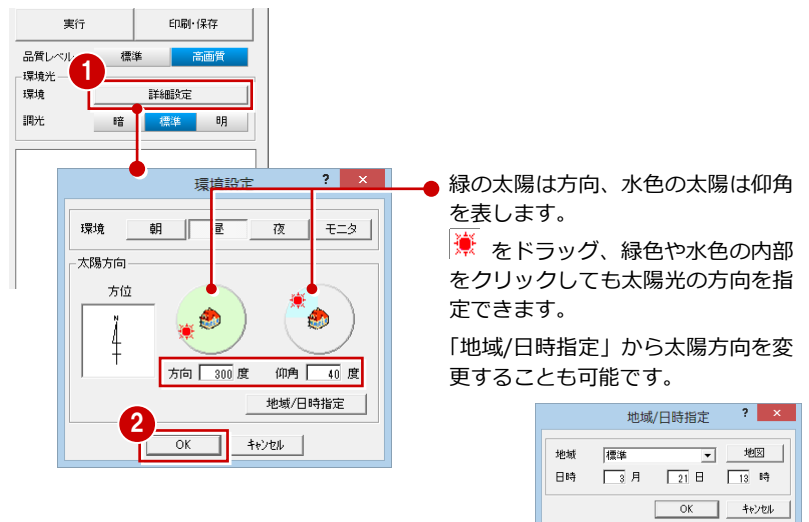
レンダリングを中止するには

タイトルバーやウィンドウをクリックします。または、他コマンドを実行、Esc キーを押しても中止できます。



太陽の方向を変更する

- 「詳細設定」をクリックします。
- 太陽の方向と仰角を設定します。
ここでは、次のように設定して「OK」をクリックします。
「方向」: 300 度
「仰角」: 40 度
- 「実行」をクリックして作成イメージを確認します。



右ダブルクリック

レンダリングは、パース画面で右ダブルクリックしても実行できます。



【補足】品質レベルと環境光の設定

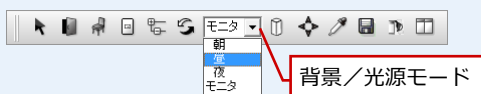
品質レベルには「標準」と「高画質」があり、それぞれ「環境」や「調光」の設定によって作成される画像の表現が異なります。

※ 下図は「背景/光源モード」が「モニタ」の場合のレンダリング結果

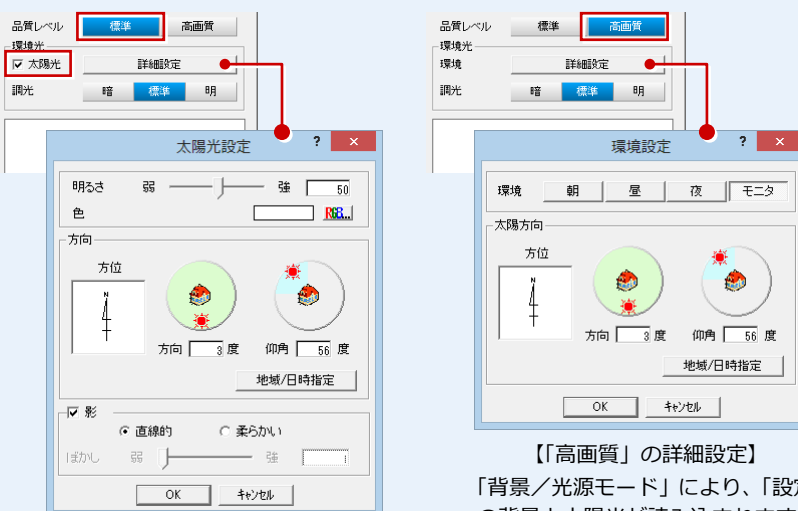
| 調光 | 暗 | 標準 | 明 |
|-----|---|----|---|
| 標準 | | | |
| 高画質 | | | |

また、背景や太陽光などは「背景/光源モード」の切り替えで変更されます。

プルダウンメニューから「設定」の「設定」を選び、【パースモニタ】の「背景・太陽光」で、それぞれの背景、太陽光の有無や明るさなどを設定しておけます。



なお、「標準」と「高画質」では、「詳細設定」の内容や参照が異なります。



【「標準」の詳細設定】

「背景/光源モード」により、「設定」の背景と太陽光が読み込まれます。「太陽光」がONの場合に、太陽光や影の設定を変更できます。

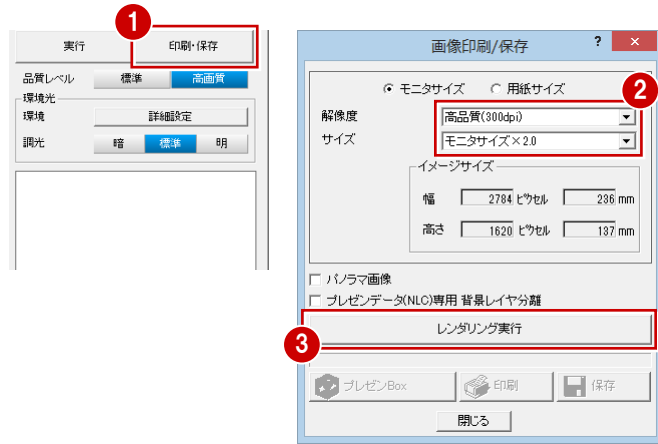
【「高画質」の詳細設定】

「背景/光源モード」により、「設定」の背景と太陽光が読み込まれます。ただし太陽光の明るさ・色は、モードごとにプログラム固定です。

「高画質」で夜のパースを作る場合
「高画質」で夜のパースを作る場合は、環境による光源がないため、部品光源が必要です。

画像を作成する

- 1 「印刷・保存」をクリックします。
- 2 解像度、サイズを設定します。
ここでは、次のように設定します。
「解像度」：高品質（300dpi）
「サイズ」：モニタサイズ×2.0
- 3 「レンダリング実行」をクリックします。



作成イメージを確認していると

P.19の「レンダリング」の「実行」を行うと、「画像印刷/保存」ダイアログの「モニタサイズ×1.0」の設定において、「印刷」と「保存」が有効になっています。
サイズを変更しない場合は、そのまま画像保存と印刷が可能です。

画像サイズの設定

きれいな印刷結果を得るためには、作成する画像のサイズが大きいの必要があります。ただし、大きければ大きいほど処理に時間がかかり、データ容量も大きくなります。一般的に、印刷用には1600×1200ピクセル程度は必要です。ここでは、「イメージサイズ」の幅と高さが「1600×1200ピクセル程度」となるように、「モニタサイズ×2.0」を選んでいきます。

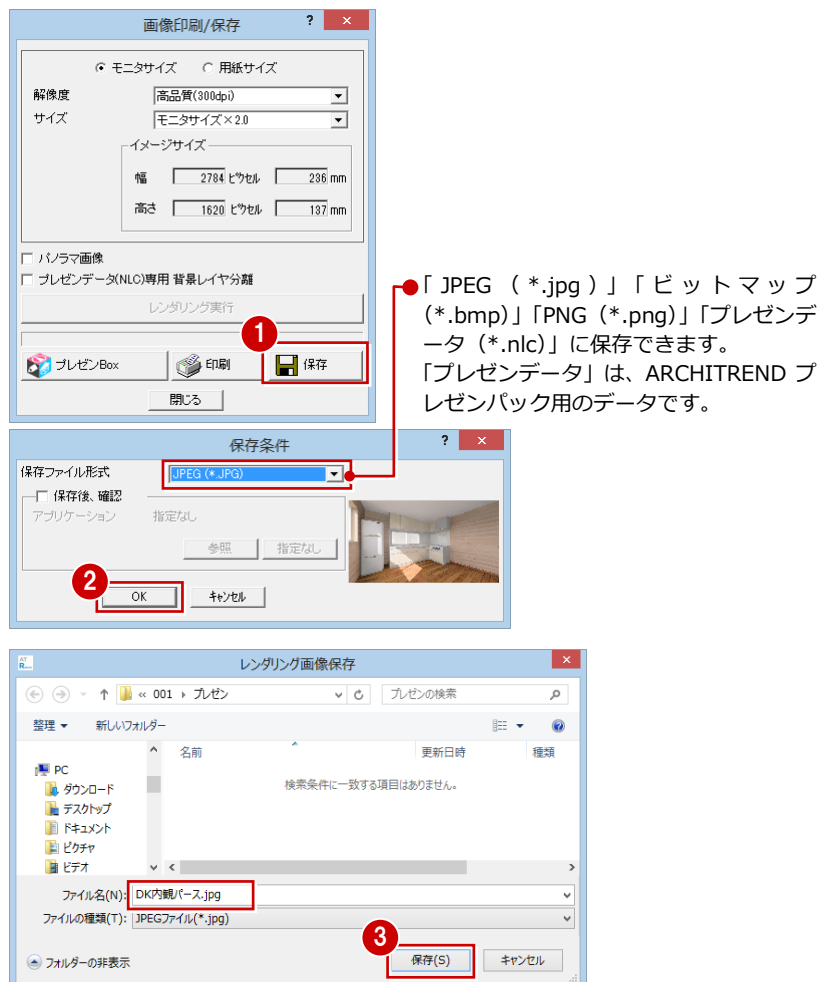
なお、「モニタサイズ」と「用紙サイズ」の違いは次の通りです。

- ・「モニタサイズ」：基本的に現在のモニタサイズをベースにして画像を作成するため、モニタ表示そのまま画像を作成できます。
- ・「用紙サイズ」：用紙サイズを決めて印刷する場合に使用しますが、用紙サイズとモニタサイズは異なるため、モニタの表示状態とは異なり、両サイドや上下が若干切れたりすることがあるので、注意が必要です。

画像を保存する

レンダリングが終了すると、「保存」と「印刷」が有効になりますので、画像を保存しましょう。

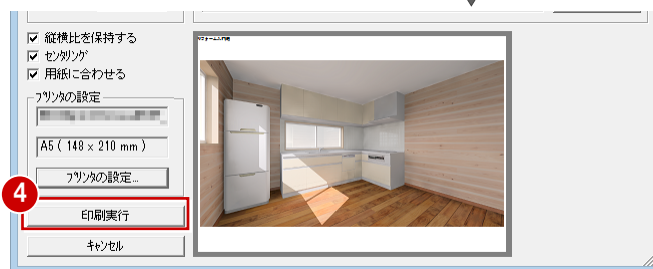
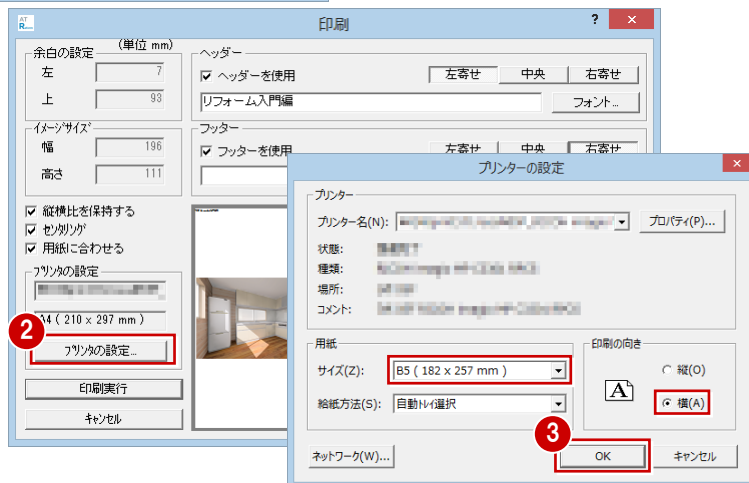
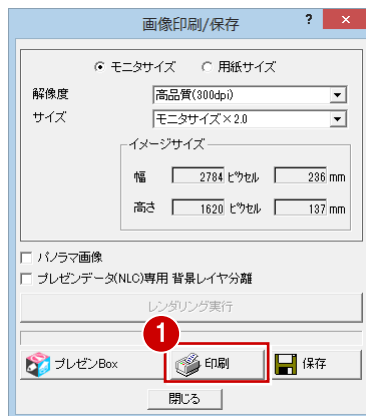
- 1 「保存」をクリックします。
- 2 保存ファイル形式（ここでは「JPEG」）を確認して、「OK」をクリックします。
- 3 ファイル名（ここでは「DK内観パース」）を入力して、「保存」をクリックします。画像ファイルが保存されます。



1 リフォームプランの作成

画像を印刷する


- 1 「印刷」をクリックします。
- 2 「プリンタの設定」をクリックします。
- 3 用紙サイズや向きを設定して、「OK」をクリックします。
ここでは、次のように設定します。
「サイズ」: B5 (182×257 mm)
「印刷の向き」: 横
- 4 「印刷実行」をクリックします。
- 5 印刷が終了したら、「閉じる」をクリックします。

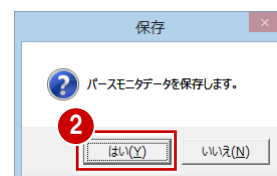


印刷が開始されます。



パースモニタデータを保存する

- 1 パース用フローティングバーの  をクリックします。
- 2 確認画面で「はい」をクリックします。



1-6 展開図の作成

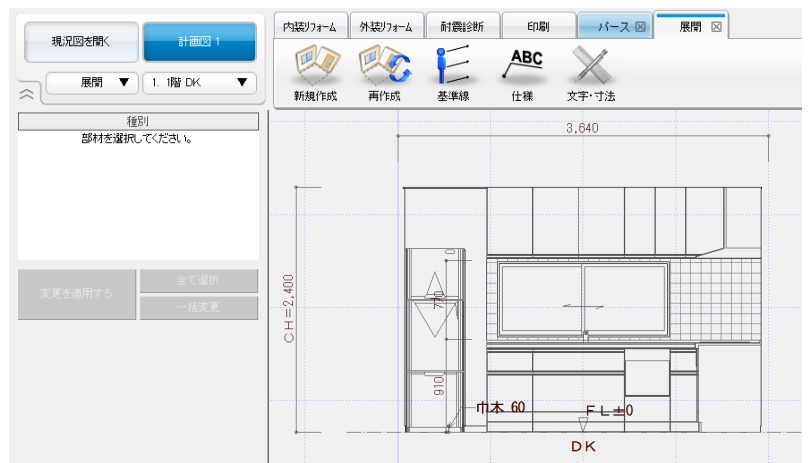
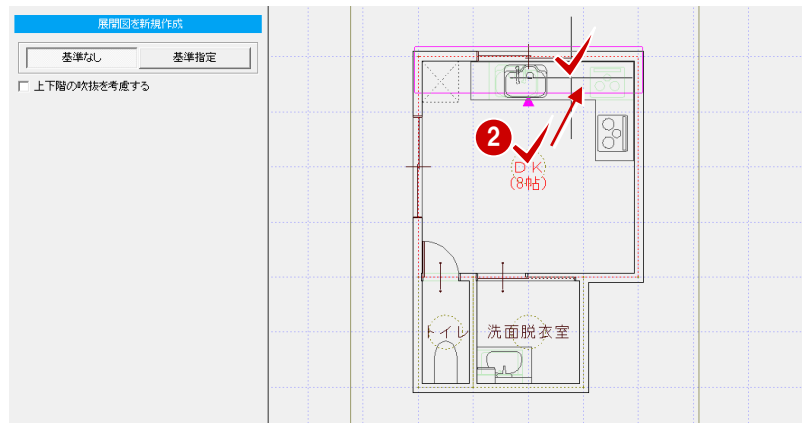
DKの展開図を作成しましょう。展開図は、部屋と視点方向を指定するだけで、簡単に作成することができます。また、図面に仕上仕様や寸法線を追加してみましょう。

展開図を自動作成する

- 「図面の切り替え」から「展開」を選びます。
視点設定の画面が表示されます。
- 作成する部屋、壁面（視点方向）の順にクリックします。
指定した面の展開図が作成されます。

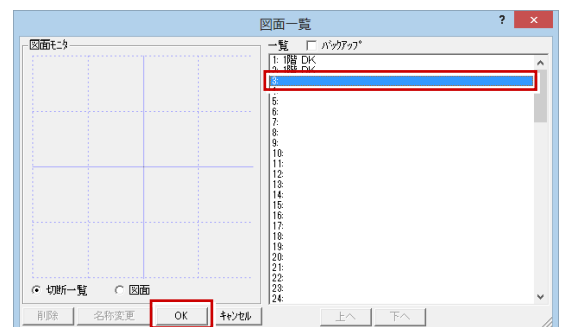
切断面を指定するには

展開図の切断位置を指定したい場合は、視点設定時に「基準指定」をクリックすると、作成する部屋、壁面（視点方向）の次に、切断線の位置を指定できます。
なお、部品に切断線がかかる場合は、部品の切断位置に関わらず、部品全体の見付表現として描画されます。



次回、展開図を開いたときは

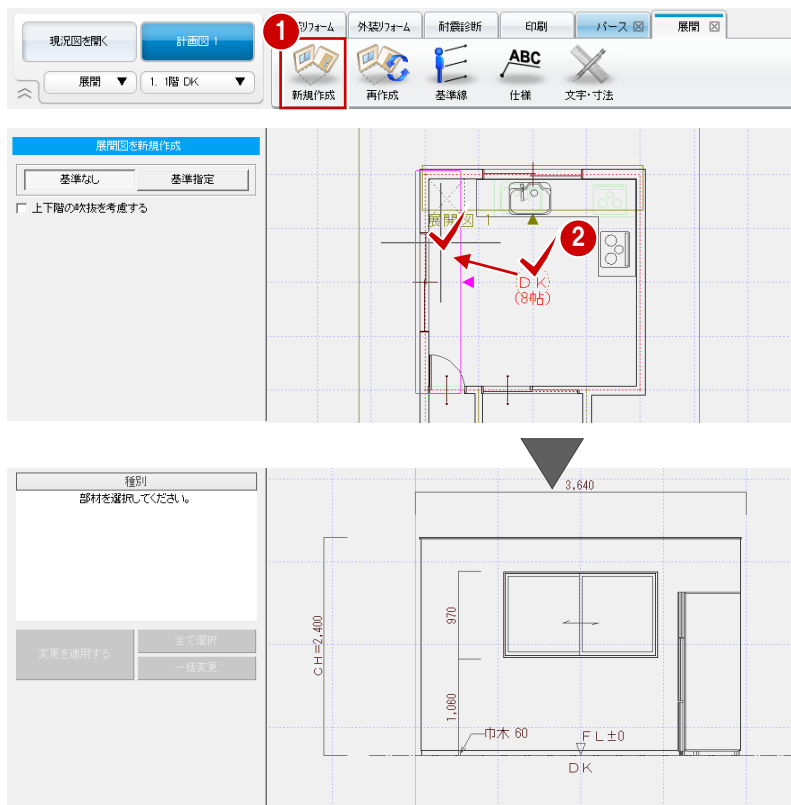
展開図を保存して終了し、次回展開図を開いたときには「図面一覧」ダイアログが表示されます。
作成する面を指定して「OK」をクリック（または、面をダブルクリック）すると、視点設定（上記手順②）の状態になります。
なお、「図面一覧」ダイアログでは、保存されている展開図の切断位置や図面内容の確認、削除、名称変更などが行えます。



1 リフォームプランの作成

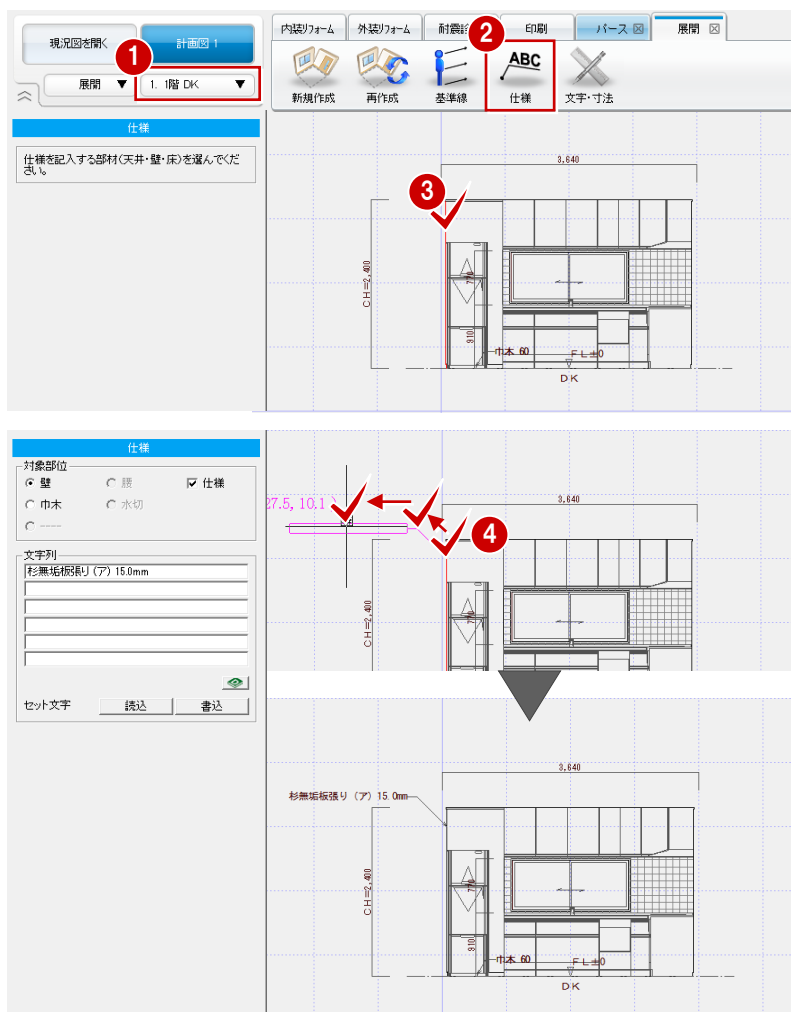
他の面を作成する

- 1 「新規作成」をクリックします。
視点設定の画面が表示されます。
- 2 同様にして、DK 西側の展開図を作成します。

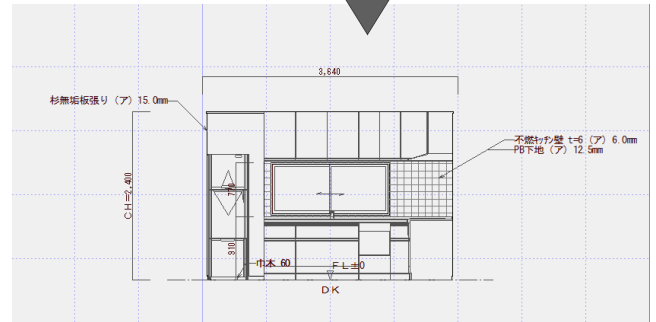
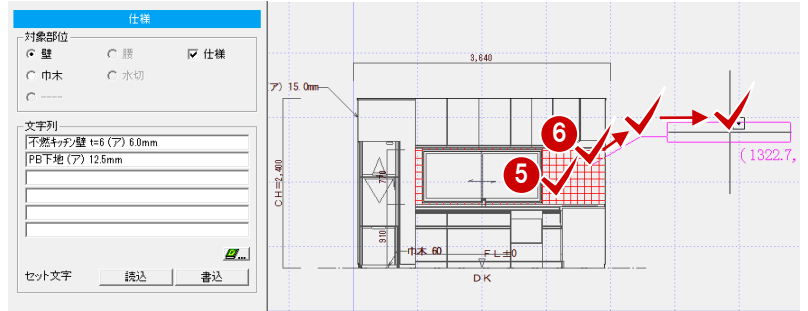


仕上仕様を入力する

- 1 「階・面の切り替え」から「1面」を選びます。
- 2 「仕様」をクリックします。
- 3 仕様を記入する部材（ここでは壁仕上）をクリックします。
- 4 引出線の始点、終点、文字列の方向の順にクリックします。



- 56 同様に、キッチン壁の部分にも仕上仕様の引出線を入力します。



【補足】データを要素単位で編集するには

データを文字列や線分などの要素単位で編集したい場合は、フローティングバーの をクリックして にします。

が表示されていない場合は、フローティングバー上で右クリックして「カスタマイズ」を選び、「バック化」をONにします。フローティングバーの表示については基本操作編 P.4 参照。

● データ選択時



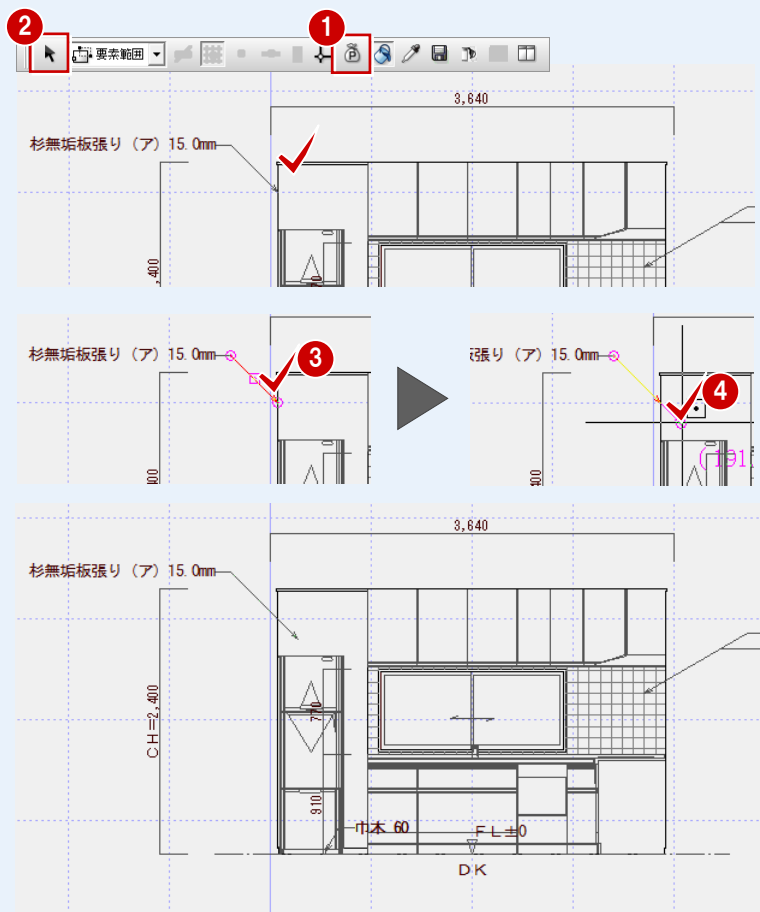
【バック化 : ON】



【バック化 : OFF】

例えば、仕上仕様を入力した後で、引出線の長さを変更したい場合は、以下のように操作します。

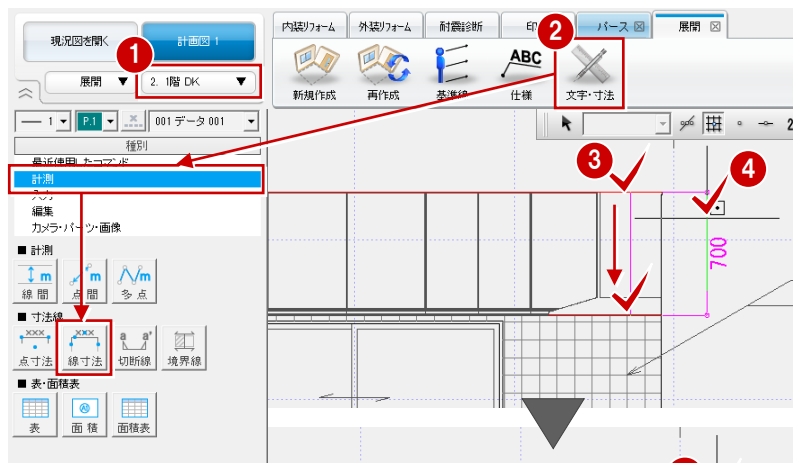
- 1 フローティングバーの をクリックして にします。
- 2 フローティングバーの をクリックして、引出線を選択します。
- 3 トラッカーが表示されるので、伸縮する方のトラッカー (○) をクリックします。
- 4 移動先をクリックして指定します。指定した位置まで引出線が伸びます。



1 リフォームプランの作成

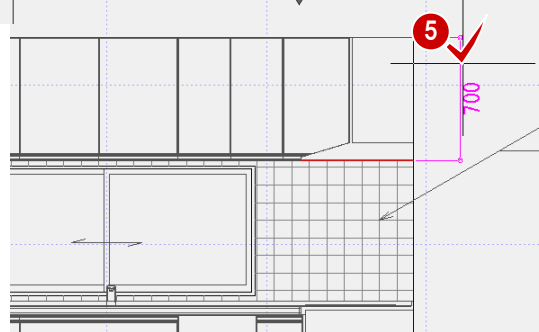
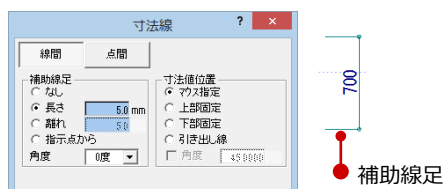
寸法を入力する

- 1 「文字・寸法」をクリックして、「計測」の「線寸法」を選びます。
- 2 寸法を計測する2つの線分をクリックします。ここでは、吊戸棚の上端と下端を指定します。
- 3 寸法線の位置をクリックします。
- 4 寸法文字の位置をクリックします。

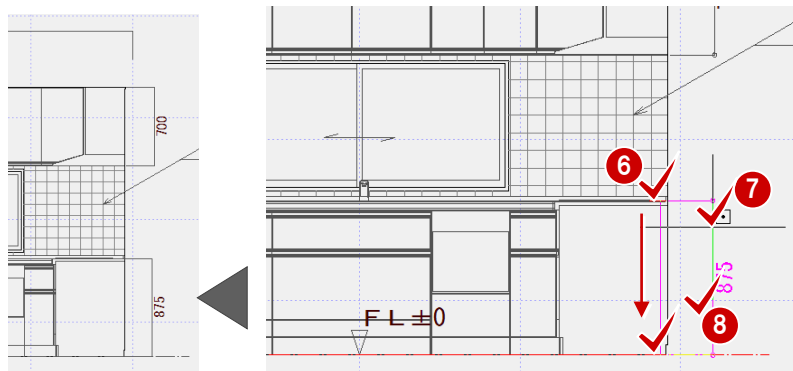


寸法線の設定


寸法線の位置をクリックするときに、「寸法（線間）入力」ダイアログで補助線の足をつけるかどうか、寸法値の位置を固定するかどうかの設定が可能です。

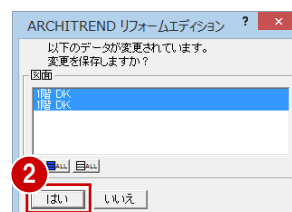


- 6~8 同様に、流し台の上端と床面をクリックして寸法を入力します。



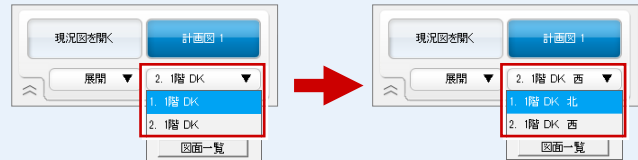
データを保存する

- 1 フローティングバーの  をクリックします。
- 2 確認画面で「はい」をクリックします。



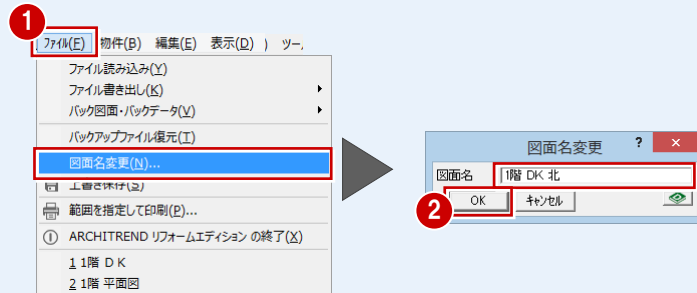
【補足】図面名を変更するには

作成した展開図は、どちらも図面名が「1階 DK」のため、判別しやすいように図面名称を変更しておくといでしょう。



■ 現在開いている図面名を変更するには

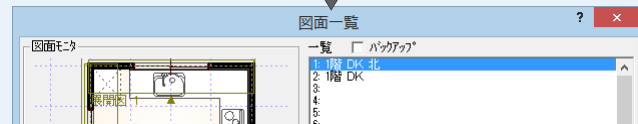
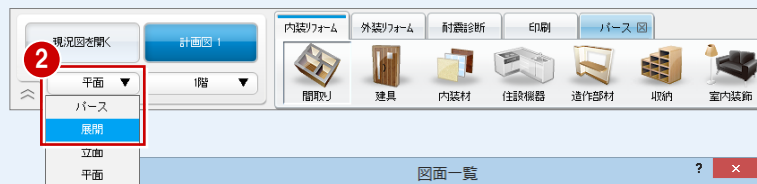
- ① プルダウンメニューから「ファイル」の「図面名変更」を選びます。
- ② 図面名を変更して、「OK」をクリックします。



■ 図面一覧でまとめて変更するには

この操作では、開いている図面の名称は変更できないため、一旦展開図を閉じます。

- ① 「展開」タブの「x」をクリックします。
- ② 「図面の切り替え」から「展開」を選びます。
- ③ 「図面一覧」ダイアログから変更する面を選んで、「名称変更」をクリックします。
- ④ 図面名を変更して、「OK」をクリックします。



1-7 図面の印刷

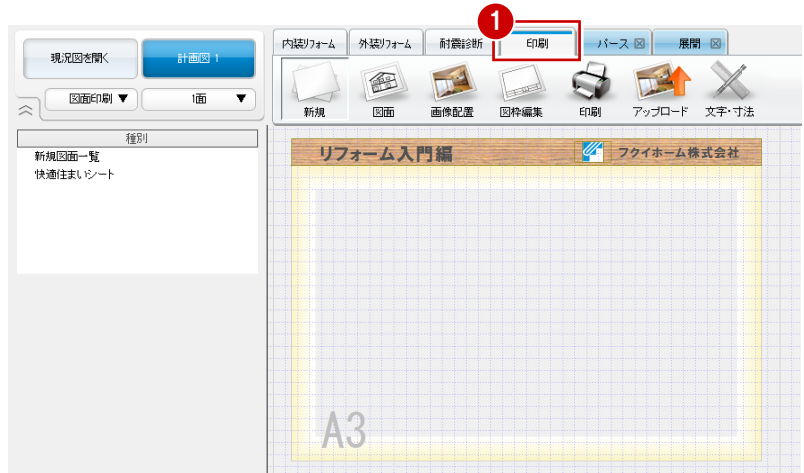
作成した図面をレイアウトして、印刷してみましょう。この章では、A3サイズの図面枠を使って図面を印刷する流れを解説します。

図枠を配置する

- 「印刷」タブをクリックします。
図面レイアウト用の画面が表示されます。

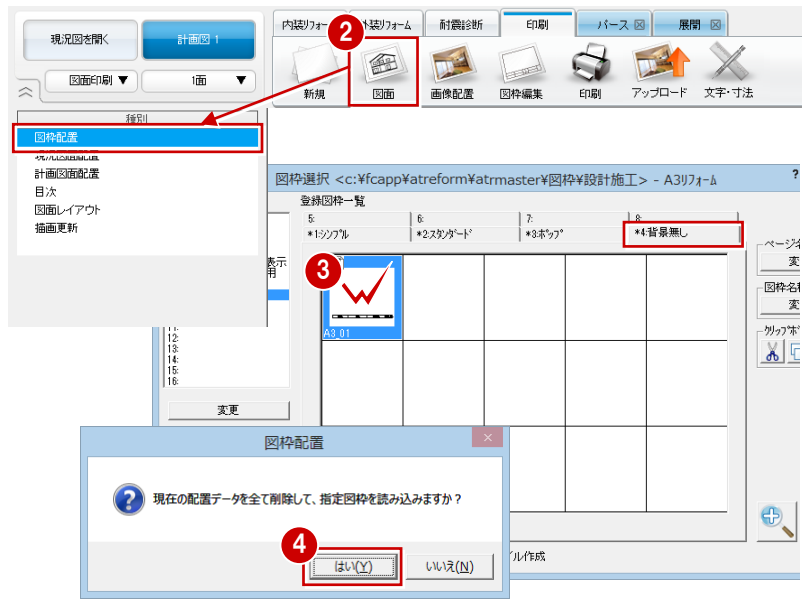
会社情報

図枠の会社情報やロゴには、マネージャーの「設定」メニューの「初期設定」ダイアログで「自社情報」が設定されている場合に、その情報が連携します。



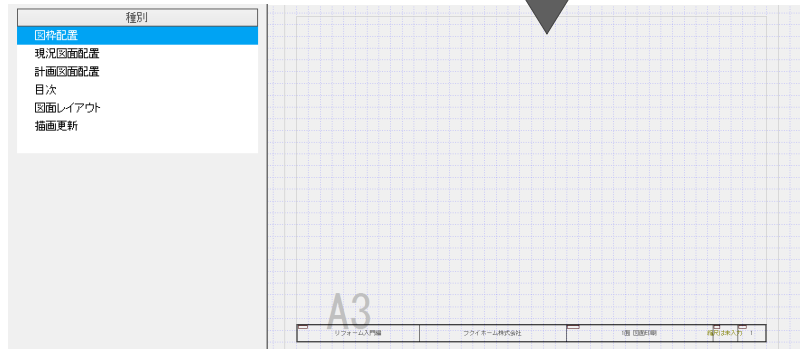
図面枠を変更しましょう。

- 「図面」をクリックして、「図枠配置」を選びます。
- 配置したい図面枠を選びます。
ここでは、「4:背景無し」タブの「A3_01」をダブルクリックして選択します。
- 確認画面で「はい」をクリックします。
図面枠が変更されます。



拡大表示

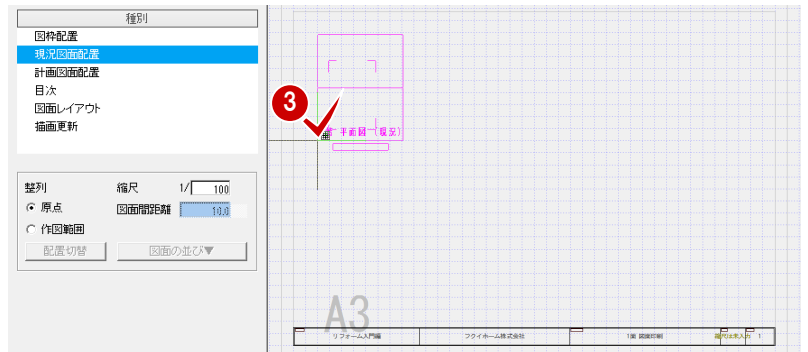
「図枠選択」ダイアログの をクリックすると、拡大して登録内容を確認できます。



図面を配置する

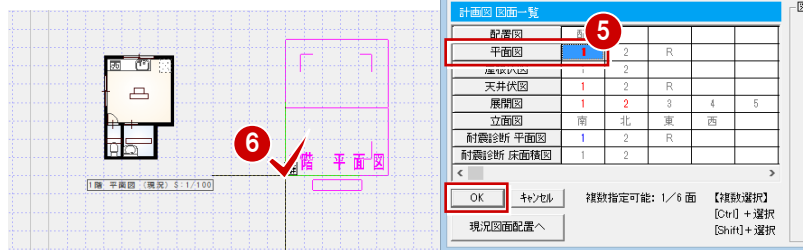
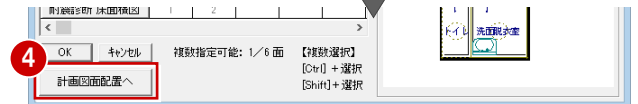
- 現況図（平面図）を配置する -

- ① 「現況図面配置」をクリックします。
- ② 平面図の「1」を選んで、「OK」をクリックします。
平面図の1階を配置する状態になります。
- ③ 図面の配置位置をクリックします。



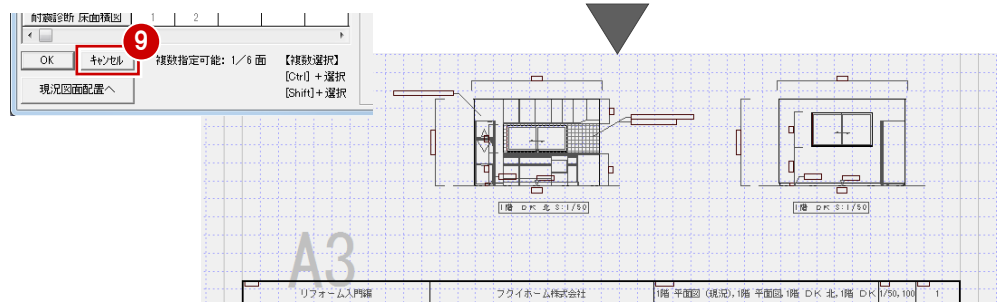
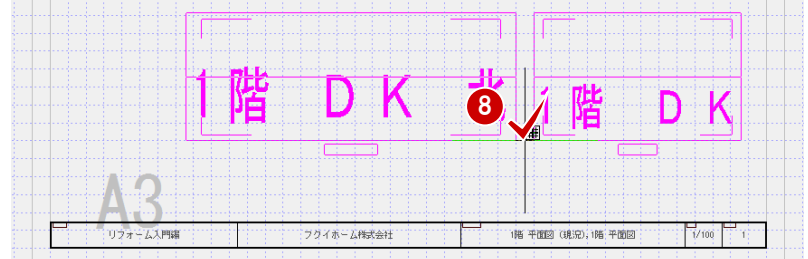
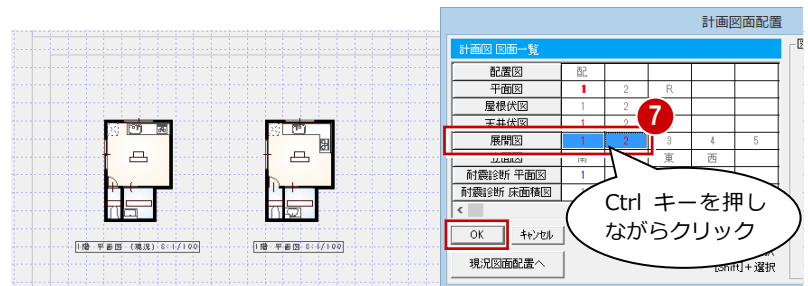
- 計画図（平面図）を配置する -

- ④ 再度「現況図面配置」ダイアログが開くので、「計画図面配置へ」をクリックします。
「計画図面配置」ダイアログが開きます。
- ⑤⑥ 現況図と同様にして、平面図の1階を配置します。



- 計画図（展開図）を配置する -

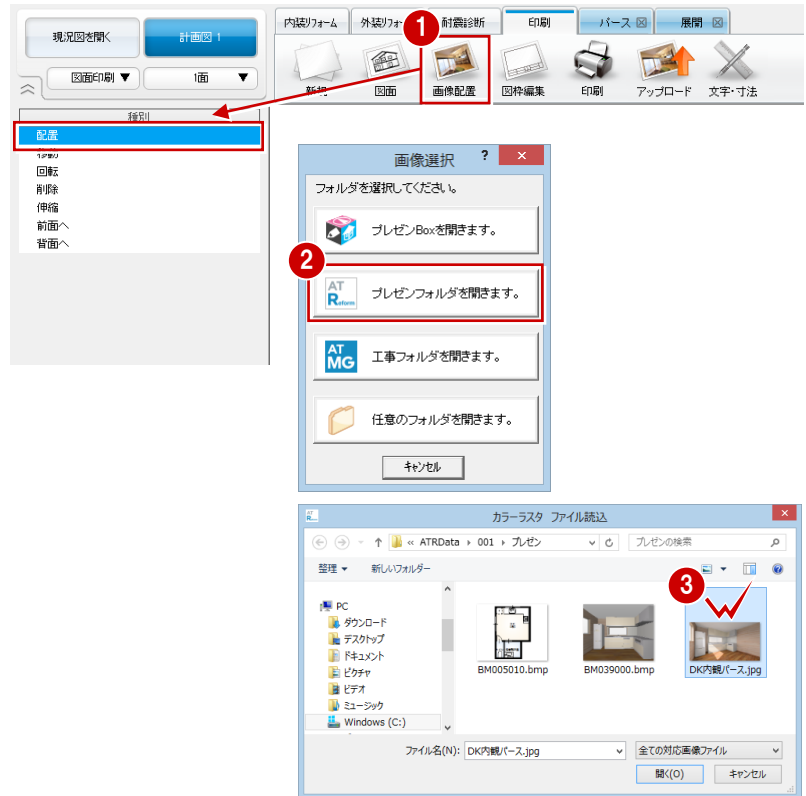
- ⑦ 展開図の「1」をクリックして、Ctrl キーを押しながら「2」をクリックします。
1面・2面が選択された状態になったことを確認して、「OK」をクリックします。
- ⑧ 図面の配置位置をクリックします。
- ⑨ 再度「計画図面配置」ダイアログが開くので、「キャンセル」をクリックします。



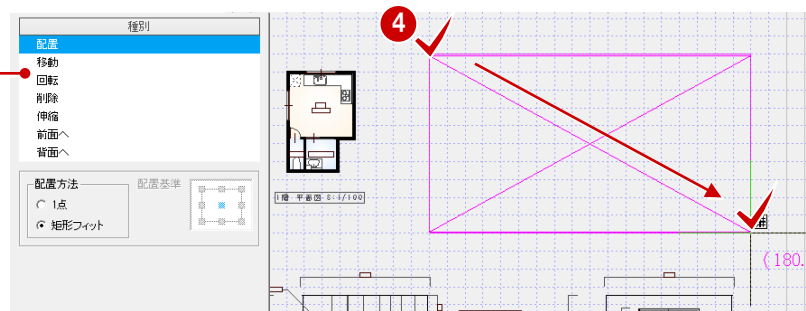
1 リフォームプランの作成

パースを配置する

- 1 「画像配置」をクリックして、「配置」を選びます。
- 2 「画像選択」ダイアログで「プレゼンフォルダを開きます」をクリックします。現在開いている物件の「プレゼン」フォルダを開きます。
- 3 画像をダブルクリックして選択します。
- 4 画像を配置する範囲を矩形で入力します。ここで指定した範囲に納まるように画像が配置されます。
- 5 再度「画像選択」ダイアログが開くので、「キャンセル」をクリックします。



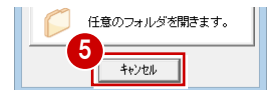
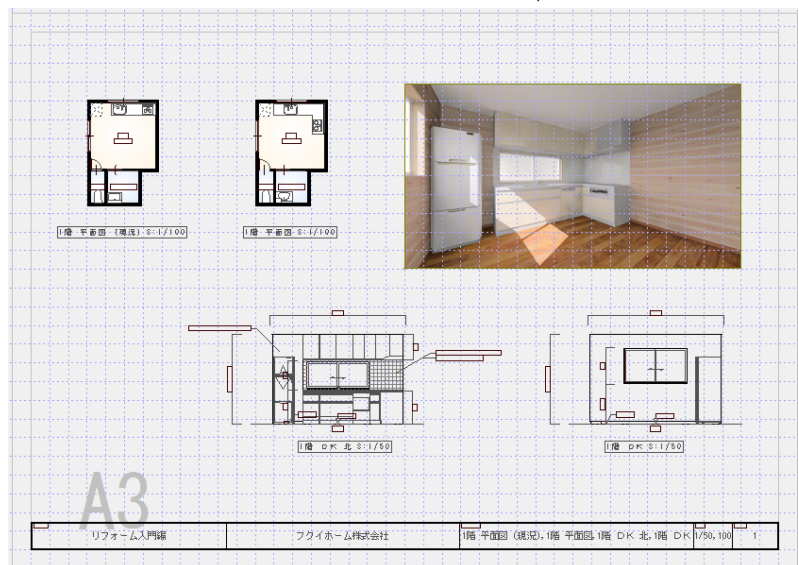
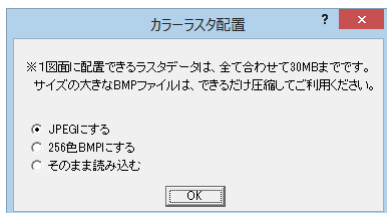
画像データの移動や削除はポップアップメニューからは実行できません。こちらの専用コマンドを使用します。



配置可能な画像ファイル

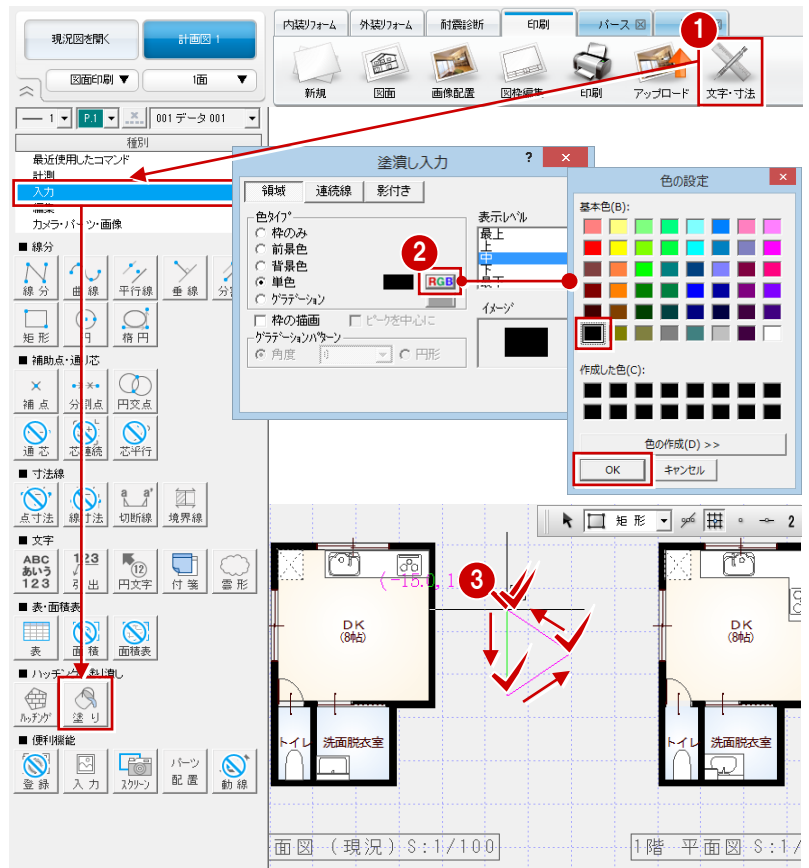
- BMP (*.bmp, *.dib ※ 32 ビットは不可)
- JPEG (*.jpg, *.jpeg)
- PNG (*.png)
- TIFF (*.tif, *.tiff)

1 図面に配置できる画像データは、すべて合わせて 30MB までです。これを超える場合は、警告メッセージが表示されて配置できません。また、256 色を超える BMP を配置しようとする、読み込み方を選択するダイアログが表示されます。



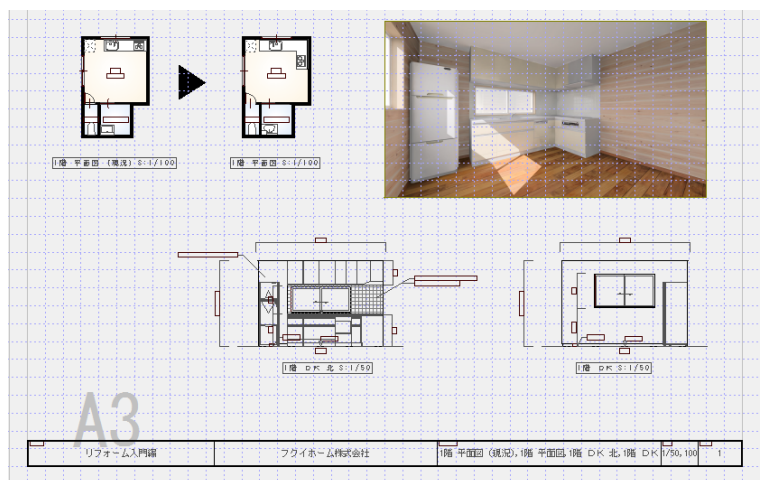
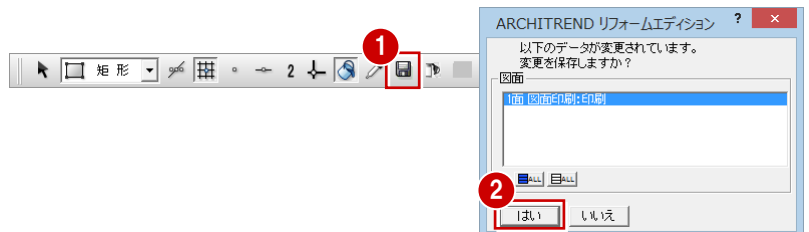
マークを配置する

- 1 「文字・寸法」をクリックして、「入力」の「塗り」を選びます。
- 2 「塗り潰しの入力」ダイアログの「RGB」をクリックして、色（ここでは「黒」）を設定します。
- 3 始点をクリックし、垂直の位置に2点目を取ると、一時的に多角形入力になります。
順にクリックして、右図のように三角形を入力します。



データを保存する

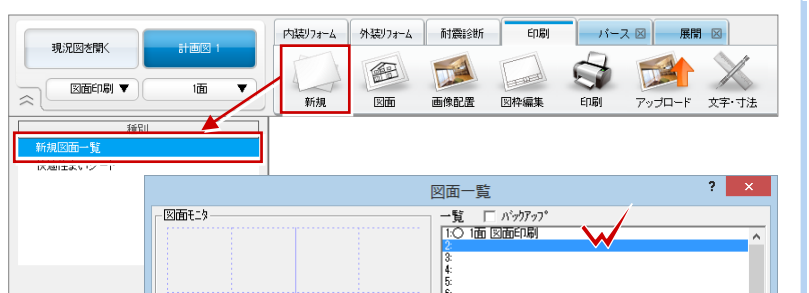
- 1 フローティングバーの をクリックします。
- 2 確認画面で「はい」をクリックします。



2 面目を作成するには

「新規」をクリックして、「新規図面一覧」を選びます。
「図面一覧」ダイアログで空いている面を選んでダブルクリックすると、その面が開きます。

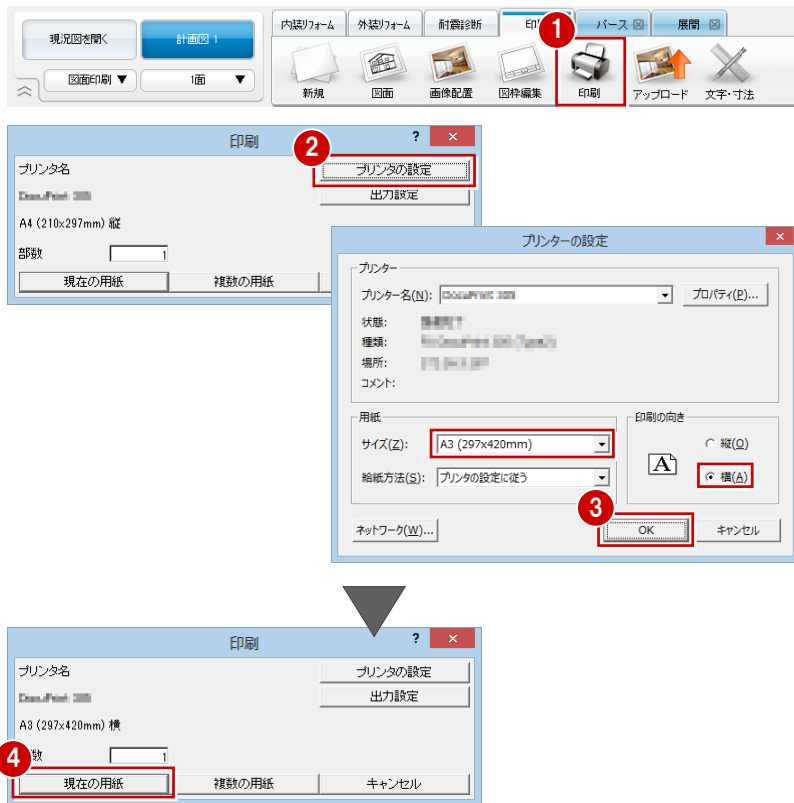
※「階・面の切り替え」から「図面一覧」を選んでも同様です。



1 リフォームプランの作成

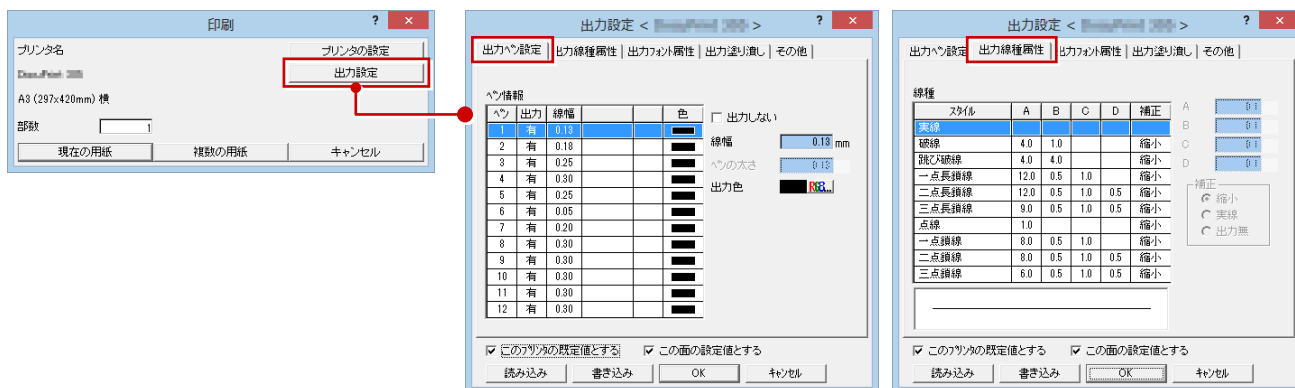
図面を印刷する

- ① 「印刷」 をクリックします。
- ② 「プリンタの設定」 をクリックします。
- ③ 用紙サイズや向きを設定して、「OK」 をクリックします。
ここでは、次のように設定します。
「サイズ」: A3 (297×420 mm)
「印刷の向き」: 横
- ④ 「現在の用紙」 をクリックします。
現在開いている用紙が印刷されます。



印刷時の線幅や色などを設定するには

ペン No ごとに出力の有無、線幅や色などを設定するときは、「出力設定」をクリックします。また、タブを切り替えて、線種、文字のフォントなどを設定できます。



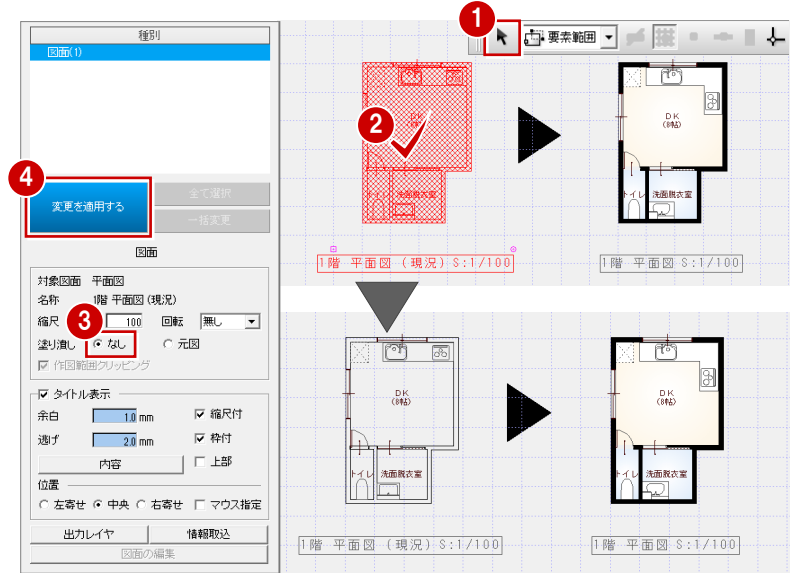
複数の図面をまとめて印刷するには

複数の図面をまとめて印刷するときは、「複数の用紙」をクリックします。「連続印刷 (図面選択)」ダイアログで印刷したい図面を複数選択して「OK」をクリックすると、印刷が開始します。



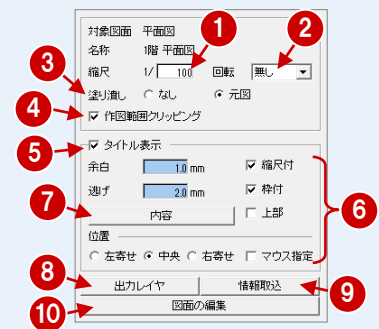
図面を塗り潰しなしで印刷するには

カラーの図面を塗り潰しなしで印刷するには、図面のプロパティの「塗り潰し」を「なし」に設定します。

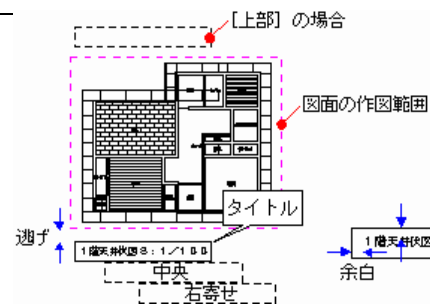


【補足】図面のプロパティ

図面のプロパティで、図面の縮尺、タイトル、塗り潰しなどを設定できます。

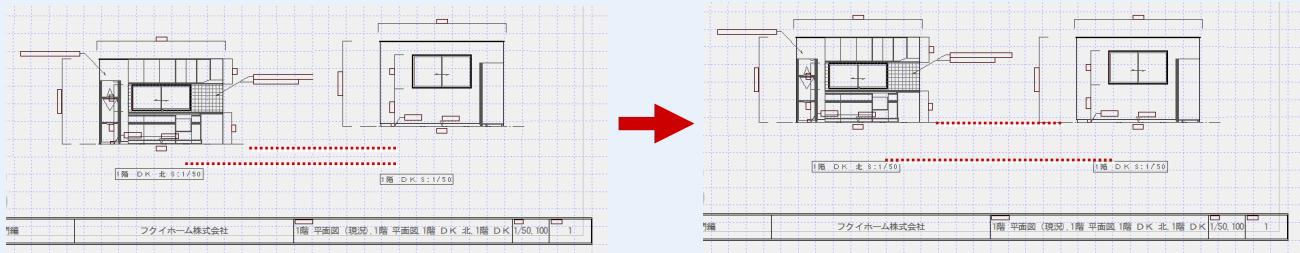


| | | |
|---|------------|--|
| ① | 縮尺 | 図面は作成時の縮尺で配置されます。縮尺を変えたいときはここで値を変更します。 |
| ② | 回転 | 図面を回転させて配置したいときに使用します（タイトルの表示は回転しません）。図面の向きは90度ずつ回転可能です。 |
| ③ | 塗り潰し | 塗り潰し領域や柱壁の塗り潰しに関する設定です。 ・なし：塗り潰しは出力しません。塗り潰しがある図面でも線画のみになります。 ・元図：図面通りの出力です。塗り潰しがある図面は塗り潰しが出力され、塗り潰しがない図面は線画のみになります。 |
| ④ | 作図範囲クリッピング | 作図範囲の外側にデータが存在する場合に選択できる設定です。ONにすると作図範囲の外側のデータは出力されません。OFFにするとすべて出力されます。 |
| ⑤ | タイトル表示 | 図面にタイトルを表示するかどうかを設定します。 |
| ⑥ | タイトルの設定 | タイトルに縮尺を付けるか、枠で囲むか、図面（作図範囲）に対してどの位置に配置するかなどを設定します。 ※「図面タイトルの移動」でタイトル位置をマウスで指定したときは「マウス指定」がONになり、タイトル位置に関する設定は非表示になります。図面に対する位置で配置し直す場合は、「マウス指定」をOFFにして位置を設定します。 |
| ⑦ | 内容 | タイトルの内容や文字サイズ、フォントなどを変更できます。 |
| ⑧ | 出力レイヤ | 図面に出力しないデータをレイヤ単位で指定できます。 |
| ⑨ | 情報取込 | 図面配置後に作図原点、作図範囲、縮尺を変更した場合は、ここをクリックしてその情報を取り込みます。 |
| ⑩ | 図面の編集 | ここから図面ウィンドウを開いて編集できます。編集後は、「印刷」タブの「図面」をクリックして、「描画更新」の「図面の更新」を実行します。 |



【補足】図面の整列

ここでは、展開図で作図範囲を取り直すなどして図面の位置が揃わなかった場合の図面の揃え方を紹介します。



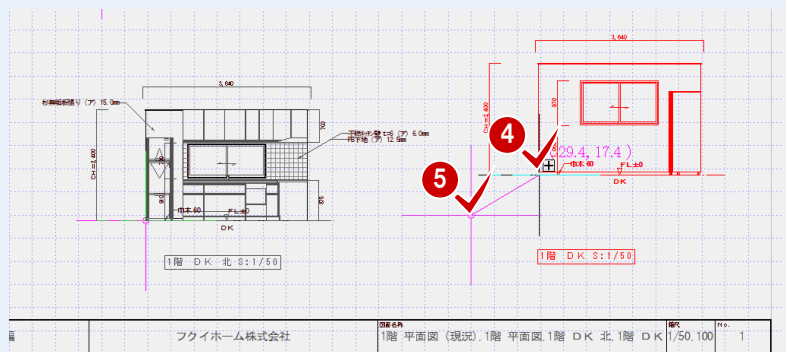
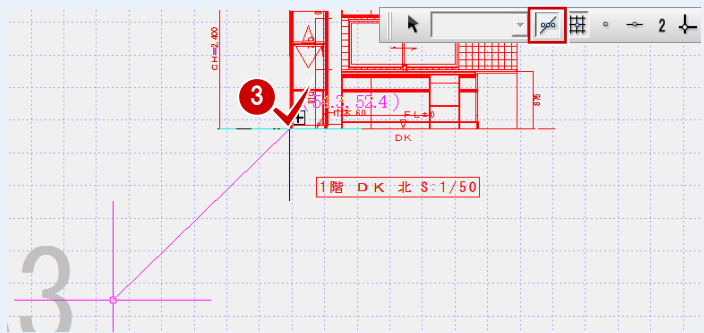
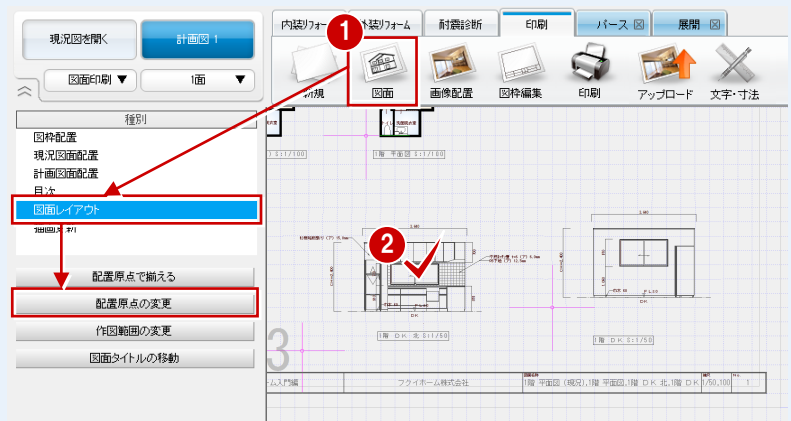
－配置原点を変更する－

① 「図面」をクリックして、「図面レイアウト」の「配置原点の変更」を選びます。各図面の配置原点がピンク色の十字で表示されます。

② 原点位置を変更する図面（ここでは展開図1面）をクリックします。

③ 変更後の原点位置をクリックします。ここでは、床面の角を指定します。（「端点・交点ピック」をON）

④⑤ 同様にして、展開図2面の配置原点も変更します。

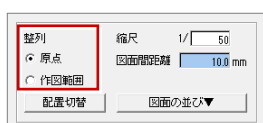


配置原点とは

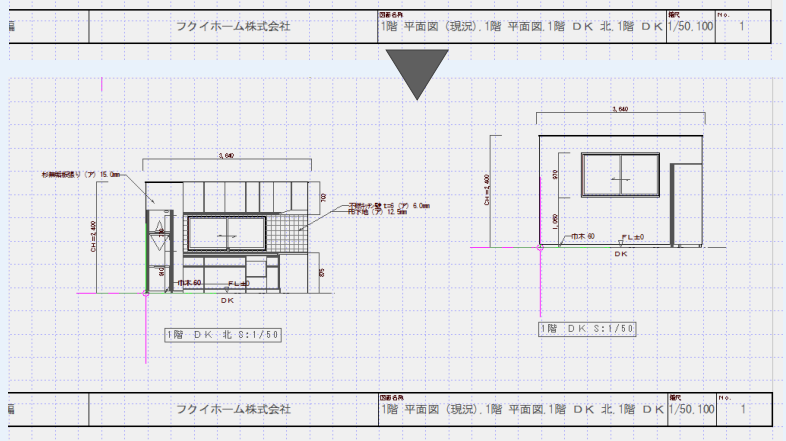
各図面に表示される配置原点は、図面に設定されている作図原点です。

「印刷」タブで図面を配置するときには、作図原点または作図範囲を基準に図面を揃えています。

（次図は、複数図面を同時に配置するときのプロパティ）

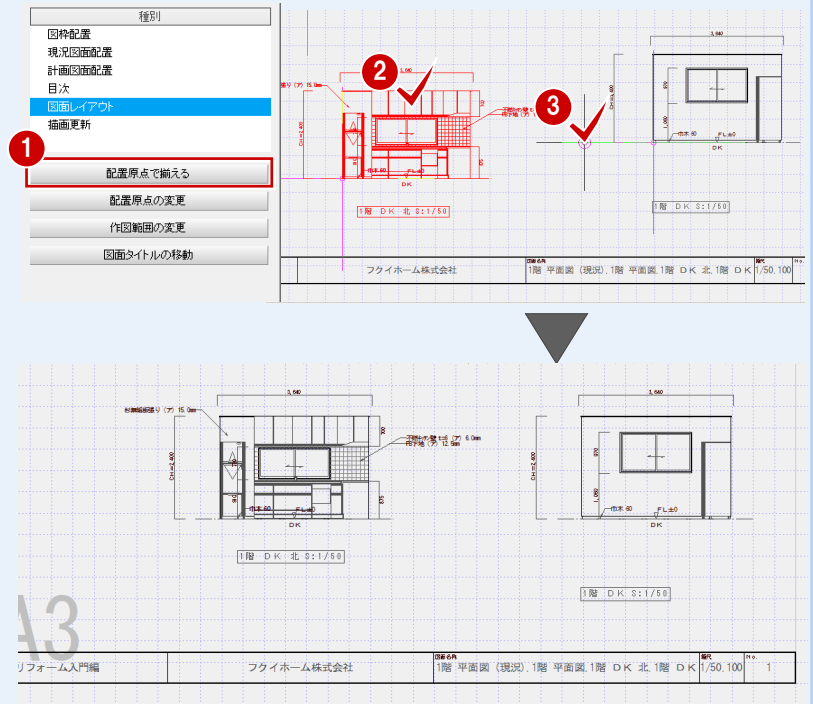


そのため、図面を複数配置する場合は、それらの図面の作図原点または作図範囲が合っていれば「印刷」タブで整列する必要はありません。



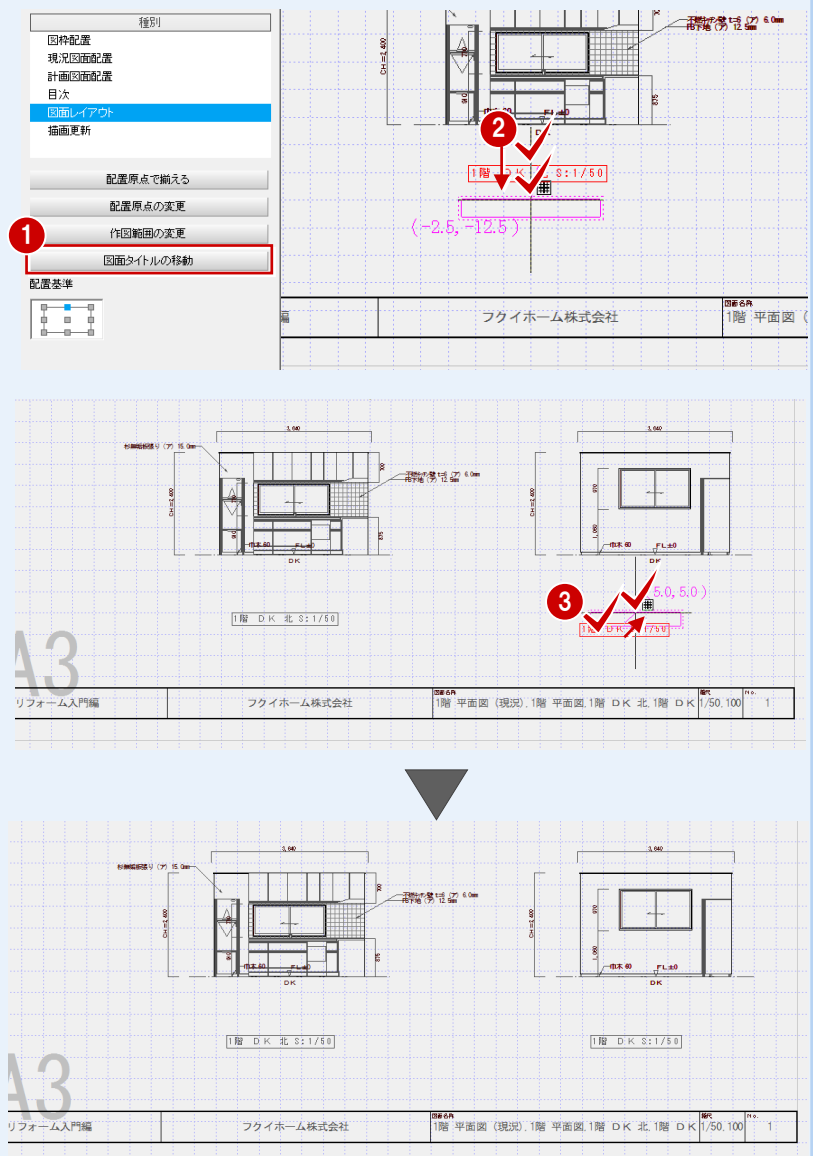
－配置原点を基準に図面を揃える－

- 1 「図面レイアウト」の「配置原点で揃える」をクリックします。
- 2 移動する図面（ここでは展開図 1 面）をクリックします。
- 3 基準とする図面の配置原点から伸びる線（ここでは水平線）をクリックします。先にクリックした図面が移動します。



－図面タイトルを移動する－

- 1 「図面レイアウト」の「図面タイトルの移動」をクリックします。
- 2 展開図 1 面のタイトル部分をクリックして、移動先をクリックします。
- 3 同様にして、展開図 2 面のタイトルも移動します。

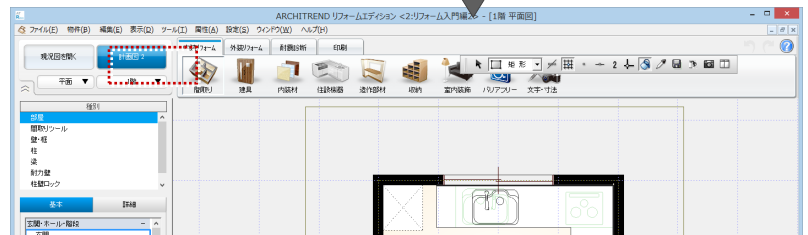


1 計画図 2 の作成

計画図は、1つの現況図から複数作成できます。また、作成した計画図をもとに他の計画図を作成することも可能です。ここでは、計画図 1 をもとに計画図 2 を作成する手順と注意点を解説します。

新しい計画図を開くには

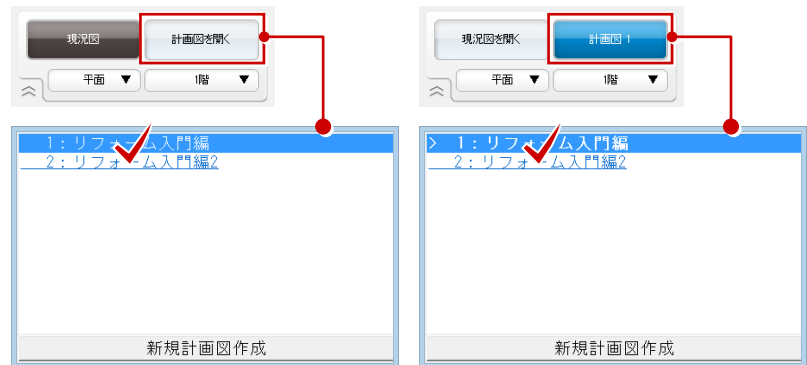
- ① 「計画図 1」 をクリックします。
- ② 「新規計画図作成」 をクリックします。
- ③ 「コピーする物件の選択」 を「開いている計画図」に変更して、「OK」をクリックします。
計画図 1 がコピーされた状態で、計画図 2 が開きます。



開く計画図を選択するには

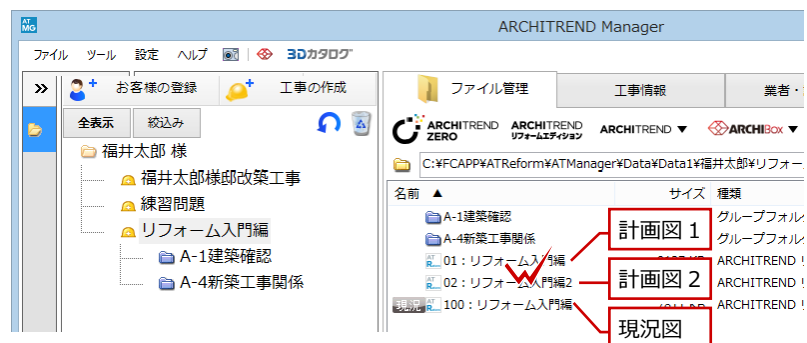
－ 現況図・計画図から開く場合 －

現況図からは「計画図を開く」、
計画図からは「計画図*」をクリックして、
開く計画図をリストから選択します。



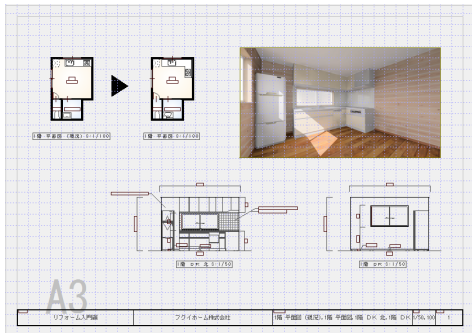
－ マネージャーから開く場合 －

同じ工事の中に、現況図と計画図が保存されています。右側のファイル一覧から、開く計画図をダブルクリックします。

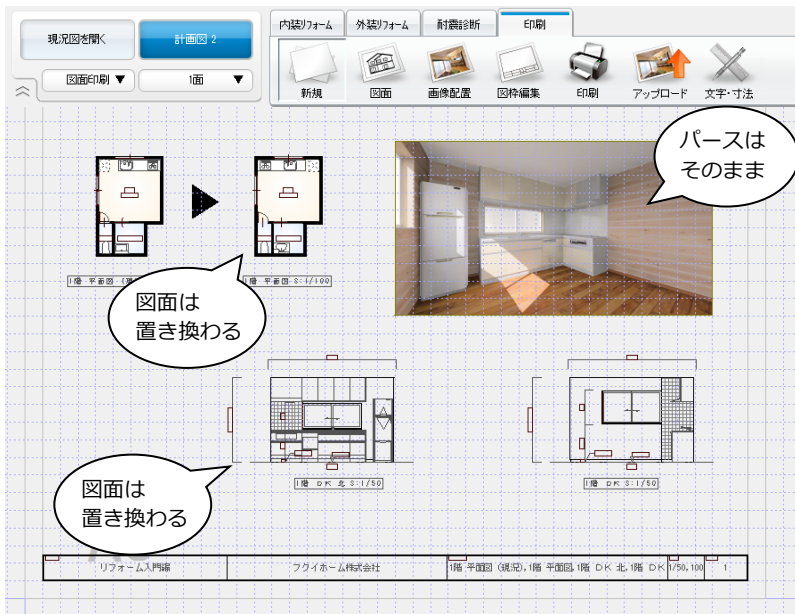


図面での注意点

計画図 2 を編集後に「印刷」タブをクリックすると、計画図 1 で保存していた図面印刷データは計画図 2 の各図面に置き換わります。パースは変わらないので、再配置する必要があります。



【計画図 1】



【計画図 2】

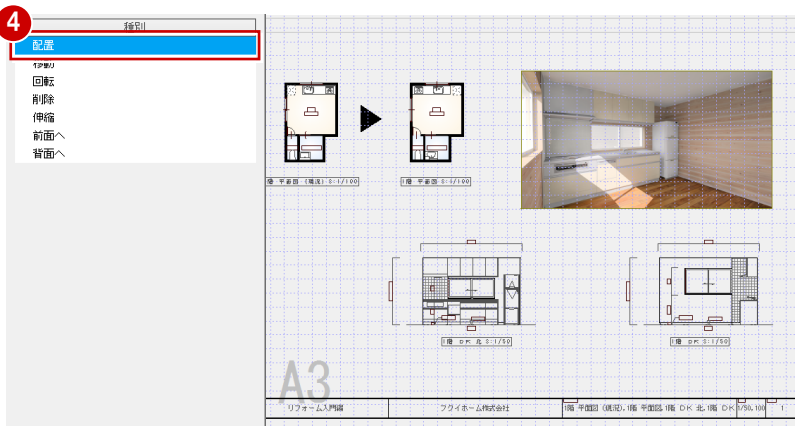
図面の更新について

先に「印刷」タブをクリックして図面印刷を開き、その後に計画図 2 の平面図、展開図を編集すると、「印刷」タブの図面は置き換わりません。このような場合は、「図面」をクリックして、「描画更新」の「図面の更新」を選ぶと、図面が更新されます。



- パースを再配置する -

- ① 「画像配置」をクリックして、「削除」を選びます。
- ② 画像をクリックします。
- ③ 左クリックで削除、右クリックでキャンセルになります。
- ④ 「配置」をクリックしてパースを配置します (⇒P.30)。



計画図 1 と 2 を並べる

計画図 1 と 2 の図面を並べてレイアウトすることはできません。

2 内法からの入力

現況図面がないときは、実際に部屋の広さを現地測量し、内法での間取り寸法を入力して現況の間取り図を作成できます。

内法から間取りを作成する

- 「間取り・内装」タブの「間取り」をクリックして「内法からの入力」を選びます。

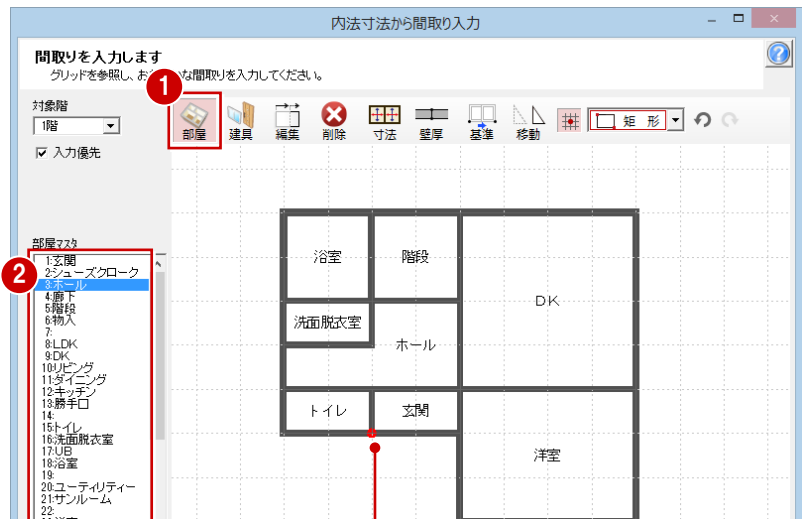


注意！！

入力済みの物件で「内法からの入力」を実行すると、元の平面データが削除されて「内法寸法から間取り入力」ダイアログで入力したものに置き換わります。ご注意ください。

－ 間取りを入力する －

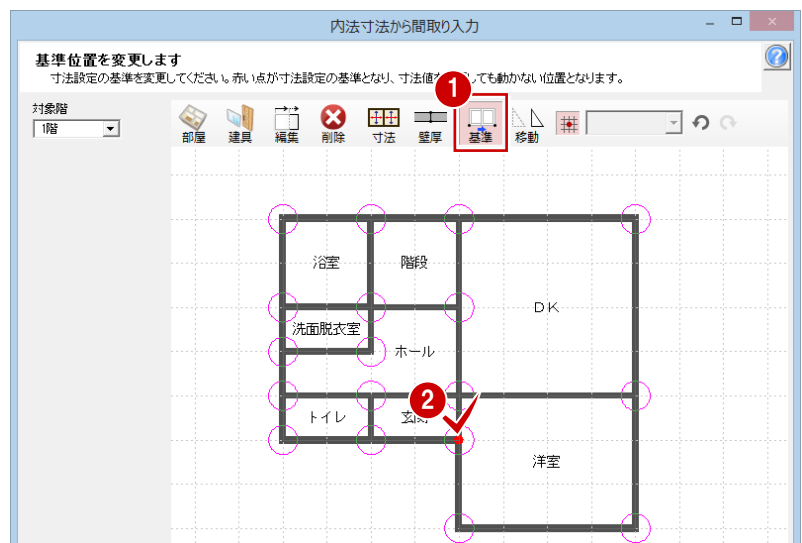
- 「内法寸法から間取り入力」ダイアログで「部屋」がONの状態になっていることを確認します。
- 入力したい部屋を選んで、大まかな間取りを入力します。



最初に入力した部屋の角に基準点（赤い点）が設定されています。寸法を編集する際は基準点をもとに伸縮するため、変更する場合は次の操作を行います。

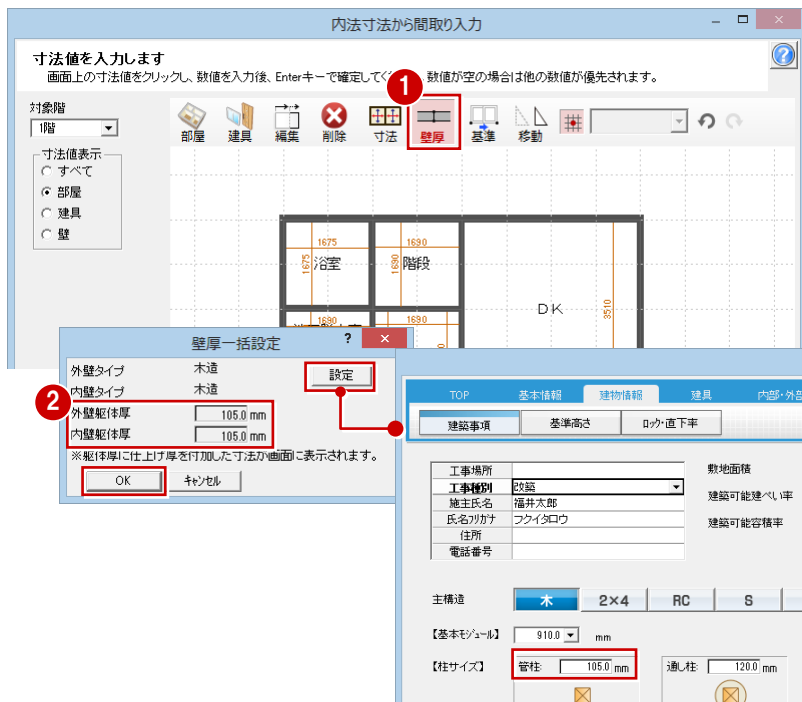
－ 寸法設定の基準位置を指定する －

- 「基準」をクリックします。
 - 基準点の位置をクリックします。
- ※ ピンク色の円が表示されていないところには指定できません。



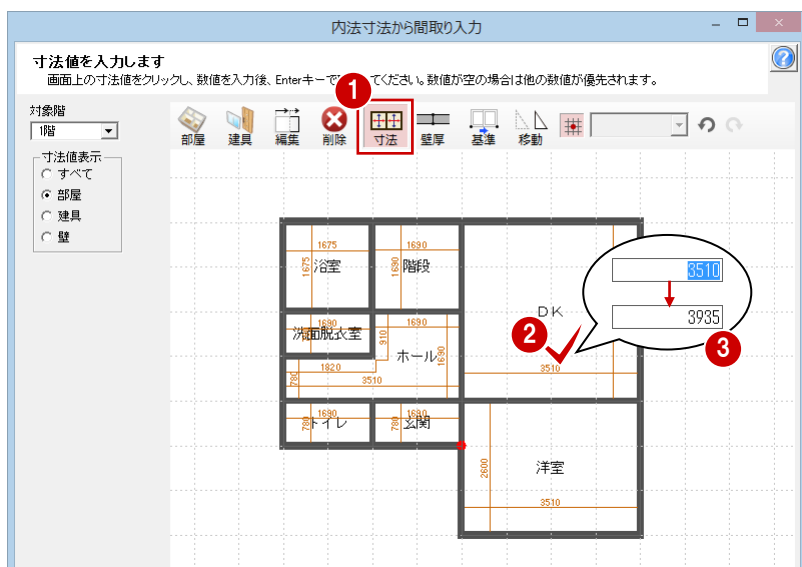
－ 壁厚を設定する －

- ① 「壁厚」 をクリックします。
- ② 「外壁躯体厚」「内壁躯体厚」を確認して、「OK」 をクリックします。
変更する場合は、「設定」 をクリックして、「管柱」のサイズを変更します。



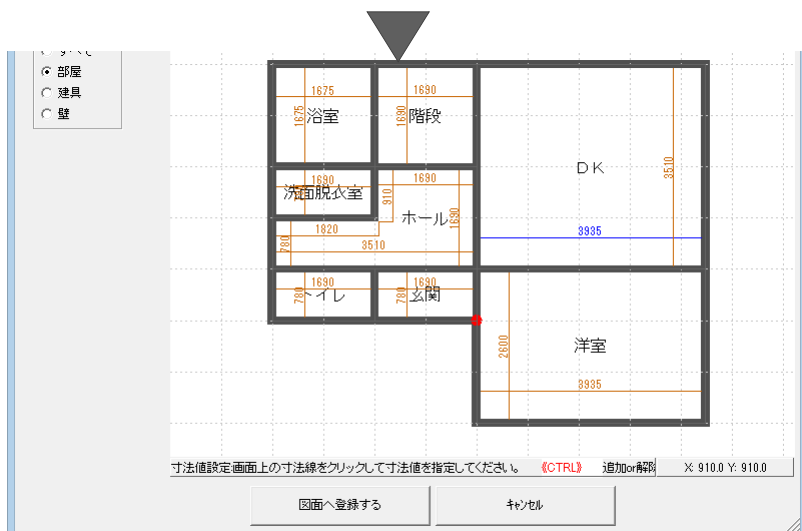
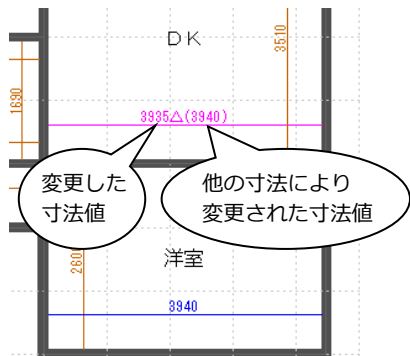
－ 内法寸法を編集する －

- ① 「寸法」 が ON の状態になっていることを確認します。
- ② 変更する寸法をクリックします。
- ③ 計測した寸法を入力して、Enter キーを押します。
部屋が伸縮し、変更した寸法は青く表示されます。



他の寸法で変更された場合

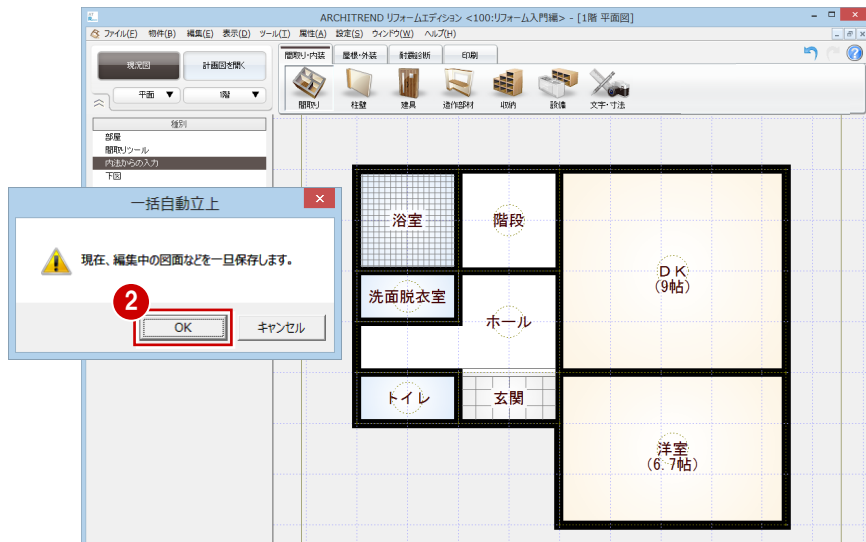
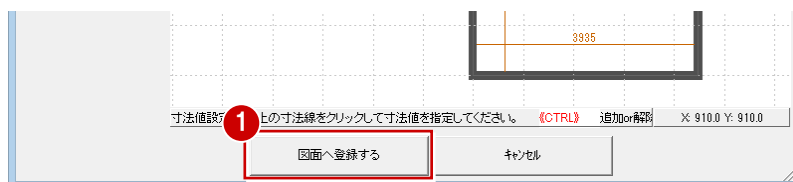
変更した寸法 (青色) を、他の寸法で変更された場合は、次のように表示されます。



付録

－ 平面図に取り込む －

- 1 寸法編集が完了したら、「図面へ登録する」をクリックします。
- 2 確認画面で「OK」をクリックします。間取りがリフォームエディションのCAD画面に取り込まれます。

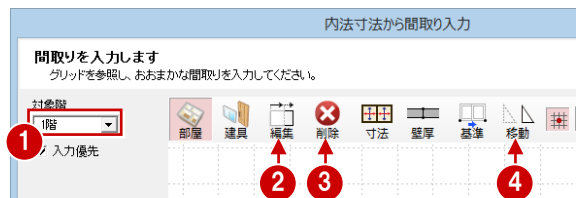


図面へ登録後に編集するには

登録後に再度「内法寸法から間取り入力」ダイアログを起動して編集することはできません。「間取りツール」やトラックカーを使用して編集してください。

その他の機能

「内法寸法から間取り入力」ダイアログの、その他の機能を紹介します。



| | | |
|---|-----|---|
| 1 | 対象階 | 間取りを入力する階を選択します。 |
| 2 | 編集 | 壁や建具を選択して、配置する位置を移動します。 |
| 3 | 削除 | 目的のデータを選択して、削除します。 |
| 4 | 移動 | 基準となる点、移動する点を指定して、対象階のすべてのデータを移動します。入力した間取りを他階の間取りに揃えたり、グリッドに揃えるときに使用します。 |